

# 業務報告

令和4年度

埼玉県産業技術総合センター

# 令和4年度業務報告目次

## 目次

<b>1</b>	<b>埼玉県産業技術総合センター概要</b>	<b>5</b>
1.1	沿革	5
1.2	組織と事務分掌	6
1.3	職員	7
1.4	所在地、土地建物	8
1.5	会計	9
1.6	貸会議室等	10
1.6.1	多目的ホール、会議室の使用料等	10
1.6.2	多目的ホール、会議室の利用件数、利用人数	10
1.6.3	多目的ホール、会議室の利用者別利用件数	10
1.6.4	多目的ホール、会議室の利用目的別利用件数	10
1.7	試験研究設備の整備状況	11
<b>2</b>	<b>技術支援</b>	<b>12</b>
2.1	技術相談・技術指導	12
2.1.1	職員による技術相談・技術指導	12
2.1.2	現場改善・製品化支援事業	14
2.1.3	Designを活用した課題解決支援事業	15
2.2	依頼試験	16
2.2.1	依頼試験	16
2.2.2	放射線測定依頼試験	17
2.2.3	技能試験	17
2.3	機器開放	18
2.3.1	機器開放	18
2.3.2	機器操作技術認定研修	19
2.4	AI・IoT技術支援事業	19
2.4.1	スマートものづくり支援事業	19
2.4.2	AI活用支援	19
2.4.3	地方版IoT推進ラボ	19
2.4.4	ものづくりAI・IoT化支援事業	19
2.5	Support×Tech（サポテック）によるものづくり環境の変革推進事業	19
2.5.1	埼玉県デジタルものづくり研究会	19
2.6	技術支援等による実用化・商品化	20
2.7	培養酵母の頒布	20
<b>3</b>	<b>研究開発</b>	<b>20</b>
3.1	研究開発	20
3.1.1	政策的研究課題	20
3.1.2	受託研究等	21
3.1.3	科学研究費助成事業（科研費）	21
3.2	客員研究員	22
3.3	研究成果の公表	23
3.3.1	センター主催の発表	23
3.3.2	学会等への発表	24
3.4	研究課題の評価	25
3.4.1	研究評価委員会	25
3.4.2	中間評価	25
<b>4</b>	<b>研究開発支援</b>	<b>26</b>

4.1	産学官連携の推進	26
4.1.1	産学官連携推進について	26
4.1.2	産学官連携関連展示会（主催事業）	26
4.1.3	産学官連携に関連する展示会	27
4.2	助成制度への取り組み	27
4.2.1	研究開発型企業支援事業	27
4.2.2	埼玉県産業技術総合センターが参加する産学官共同研究実施実績	27
4.3	特許の取得推進とその活用	28
4.3.1	産業財産権の一覧	28
4.3.2	実施許諾	30
<b>5</b>	<b>交流</b>	<b>31</b>
5.1	異業種交流支援事業	31
5.1.1	産学官交流プラザ	31
5.2	新技術情報交流支援（研究会・交流会の開催）	31
5.2.1	鋳物技術委員会	31
5.2.2	埼玉県熱処理技術研究会	32
5.2.3	清酒製造技術研究会	32
5.2.4	埼玉ブランド食品開発研究会	33
5.3	首都圏連合推進事業（公設試版）【研究発表：他県を含む】	33
5.3.1	首都圏公設試連携推進会議の開催（第62回）	33
5.3.2	首都圏公設試連携推進会議（第16回TKFオープンフォーラム）の開催	33
5.3.3	研究発表者相互派遣事業	34
5.3.4	パートナー・グループ事業	34
5.3.5	TKFミニインターンシップ事業	34
5.3.6	広域首都圏輸出製品技術支援センター（略称：MTEP）	35
5.3.7	地域未来投資促進法に基づく連携支援事業	35
5.4	RINGS NET（新潟、群馬、埼玉 3県公設試連携）	35
5.4.1	担当分野別交流会等の開催	35
5.5	講演会等講師派遣	35
5.6	技術評価等派遣	37
5.7	会議等への参加	38
<b>6</b>	<b>情報提供</b>	<b>42</b>
6.1	技術普及業務	42
6.1.1	SAITEC オープンラボ	42
6.1.2	SAITEC 北部研究所研究・支援成果発表会	42
6.1.3	研究報告	42
6.2	利用促進	43
6.2.1	業務報告	43
6.2.2	インターネットによる技術情報の提供	43
6.2.3	記者発表	43
6.2.4	マスメディア報道	43
6.2.5	関連機関等との連携強化	44
<b>7</b>	<b>起業化支援</b>	<b>45</b>
7.1	入居企業	45
7.2	支援実績	45
<b>8</b>	<b>人材育成</b>	<b>46</b>
8.1	研修生の受け入れ	46
8.1.1	中小企業等研究者養成研修事業	46
8.2	技術講習会、講演会等の開催	47
8.3	技術競技会	53
8.3.1	埼玉県鋳造技術コンクール	53

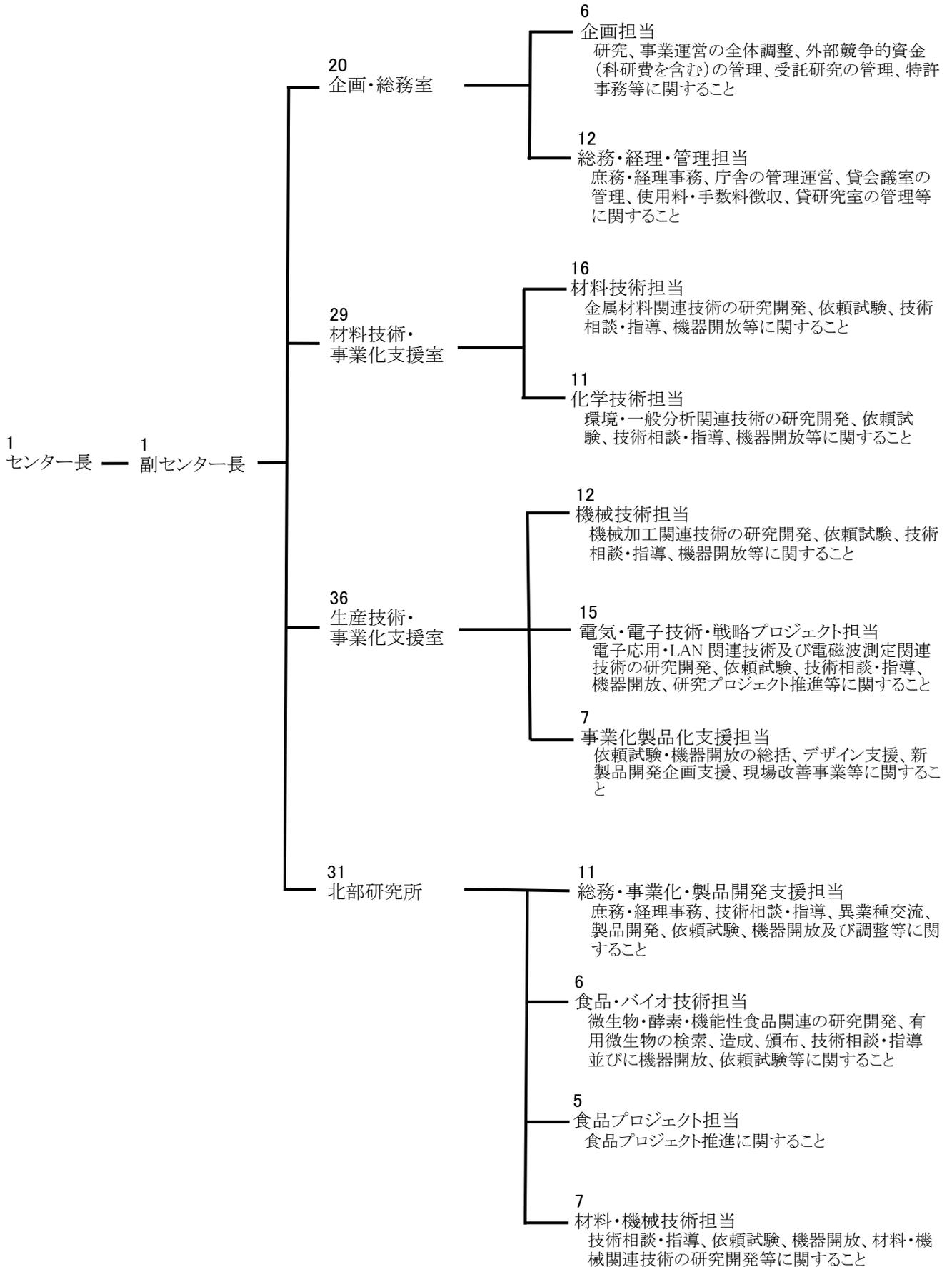
8.3.2	令和4酒造年度春季清酒鑑評会	53
8.4	科学技術体験学習の実施	54
8.4.1	スーパーサイエンスハイスクール事業	54
8.5	埼玉県立高等技術専門校との連携による取組	54
8.5.1	特別講習会	54
8.5.2	企業課題及び人材ニーズについての情報収集	55
<b>9</b>	<b>その他の事業</b>	<b>55</b>
9.1	職員研修	55
9.2	運営委員会の開催	59
9.2.1	開催状況	59
9.2.2	運営委員	60

# 1 埼玉県産業技術総合センター概要

## 1.1 沿革

大正10年	埼玉県熊谷工業試験場設立、庶務部、染色部及び機織部の3部を設置
大正11年	整理部を増設し4部となる
大正12年	図案部を増設し5部となる
昭和 5年	醸造部を増設し(昭和21年に技術部に改称)6部となる 埼玉県秩父工業試験場設立、熊谷工業試験場の機織部及び図案部を移転
昭和 6年	埼玉県熊谷工業試験場浦和分場を設置し整理部を移転
昭和 8年	埼玉県川口鋳物工業試験場設立
昭和 9年	浦和分場を埼玉県染色試験場と改称し熊谷工業試験場の染色部を移転、 熊谷工業試験場は名称を埼玉県醸造試験場と改称
昭和11年	埼玉県小川製紙研究所設立
昭和12年	埼玉県仏子染織指導所設立 埼玉県秩父工業試験場を埼玉県秩父染織指導所と改称 埼玉県川口鋳物工業試験場を埼玉県川口重工業指導所と改称 埼玉県醸造試験場に染色部を再設置し(昭和18年に廃止)、埼玉県熊谷醸造指導所と改称 埼玉県小川製紙研究所を埼玉県小川製紙指導所と改称
昭和19年	埼玉県熊谷醸造指導所を埼玉県醸造指導所と改称 埼玉県秩父染織指導所を埼玉県秩父工業指導所と改称 埼玉県仏子染織指導所を埼玉県繊維工業指導所と改称 埼玉県小川製紙指導所を埼玉県製紙工業指導所と改称
昭和20年	埼玉県川口重工業指導所を埼玉県鋳物指導所と改称
昭和24年	埼玉県行田繊維工業指導所設立
昭和31年	埼玉県醸造指導所を埼玉県醸造試験場と改称 埼玉県秩父工業指導所を埼玉県秩父繊維工業試験場と改称 埼玉県繊維工業指導所を埼玉県繊維工業試験場と改称 埼玉県行田繊維工業指導所を埼玉県行田繊維工業試験場と改称 埼玉県製紙工業指導所を埼玉県製紙工業試験場と改称 埼玉県鋳物指導所を埼玉県鋳物工業試験場と改称
昭和36年	埼玉県デザインセンターを大宮市の埼玉県商工会館内に設置
昭和38年	埼玉県鋳物工業試験場を川口市本町から川口市芝に移転し、埼玉県鋳物機械工業試験場と改称
昭和42年	埼玉県工芸試験場を浦和市に設立、デザインセンターを廃止
昭和47年	醸造試験場の建設工事竣工、埼玉県食品工業試験場と改称
昭和58年	埼玉県工芸試験場を埼玉県工業技術研究所に改称 埼玉県行田繊維工業試験場は埼玉県繊維工業試験場に、埼玉県繊維工業試験場は埼玉県繊維工業試験場入間支場に、埼玉県秩父繊維工業試験場は埼玉県繊維工業試験場秩父支場に改組
平成 7年	鋳物機械工業試験場において、新技術事業団(現(独)科学技術振興機構)及び科学技術庁金属材料研究所との共同研究を開始するため、新技術事業団埼玉研究室及び新技術事業団のプレハブ実験棟を設置
平成10年	5研究機関7施設を再編・統合し、埼玉県工業技術センター設立 本所(川口市・旧鋳物機械工業試験場)、南部研究所(浦和市・旧工業技術研究所)及び北部研究所(熊谷市・旧食品工業試験場)の3施設を設置
平成15年	埼玉県工業技術センターを廃止し、埼玉県産業技術総合センター設立 埼玉県産業技術総合センター(川口市)及び埼玉県産業技術総合センター 北部研究所(熊谷市・旧埼玉県工業技術センター北部研究所)の2施設を設置

## 1.2 組織と事務分掌



計 118 名 (R5.3.31 現在)

### 1.3 職員

センター長 (事)	福田 保之
副センター長(兼)企画・総務室長 (事)	渡邊 哲

◆本所

<b>企画・総務室</b>			
副室長 (技)	宇野 彰一	副室長 (事)	家田 忠
<b>企画担当</b>		担当部長 (技)	井上 裕之
専門研究員 (技)	宗形 隆史	主任 (技)	宮崎 智詞
主任 (技)	大澤 直幸	主任専門員 (技)	巻島 秀男
技師	川 翔真		
<b>総務・経理・管理担当</b>		担当課長 (事)	松本 修
担当課長 (事)	小森 芳久	主任 (事)	阿部 真由美
主任 (事)	橋本 友好	主任 (事)	結城 智一
主任 (事)	村上 綾音	会計年度	斉藤 留美
会計年度	橋本 章世	会計年度	武田 祐子
会計年度	伊藤 和靖	会計年度	石原 正子
会計年度	占部 哲也		
<b>材料技術・事業化支援室</b>		室長 (技)	小口 正浩
副室長 (技)	高橋 利男		
<b>材料技術担当</b>		担当部長 (技)	鈴木 昌資
主任研究員 (技)	小熊 広之	主任研究員 (技)	細野 光広
専門研究員 (技)	篠崎 誠	専門研究員 (技)	常木 裕己
専門研究員 (技)	菊池 和尚	専門研究員 (技)	森本 良一
専門研究員 (技)	鶴菌 大	主任 (技)	小野 裕也
主任 (技)	内藤 理恵	主任 (技)	鳥羽 遼子
主任専門員 (技)	永野 正明	主任専門員 (技)	鮑津 彰
技師	横森 千博	技師	久野 磨衣子
技師	萩元 祥史		
<b>化学技術担当</b>		担当部長 (技)	佐野 勝
主任研究員 (技)	熊谷 知哉	主任研究員 (技)	坂本 大輔
主任研究員 (技)	灘野 朋美	主任研究員 (技)	常見 崇史
主任 (技)	須川 真希代	主任 (技)	伊藤 幸希
主任 (技)	稲本 将史	主任 (技)	焼田 裕之
技師	代 龍之介	会計年度	平林 恵美
<b>生産技術・事業化支援室</b>		室長 (技)	出口 貴久
副室長 (技)	田中 英次		
<b>機械技術担当</b>		担当部長 (技)	南部 洋平
専門研究員 (技)	増子 陽一	専門研究員 (技)	山田 岳大
専門研究員 (技)	蓮 俊介	主任 (技)	岩崎 翼
主任 (技)	長野 隼人	主任 (技)	都知木 邦裕
技師	田中 拓也	技師	高野 力人
技師	大澤 旺欣	技師	女鹿 貴信
技師	磯脇 海		
<b>電気・電子技術・戦略プロジェクト担当</b>		担当部長 (技)	能戸 崇行
主任研究員 (技)	鈴木 浩之	主任研究員 (技)	栗原 英紀
専門研究員 (技)	関根 俊彰	専門研究員 (技)	白石 知久
専門研究員 (技)	半田 隆志	専門研究員 (技)	森田 寛之
主任 (技)	中澤 赳史	主任 (技)	香西 良彦
主任 (技)	岡崎 祥吾	主任専門員 (技)	安藤 昌弘
技師	天沼 晃	会計年度	沖 真理
会計年度	木島 一博	会計年度	大川 一博

事業化製品化支援担当		担当部長(技)	原田 勝利
専門研究員(技)	唐 牛 聖 文	主任(技)	味 方 美由貴
技 師	小 林 達 哉	会計年度	赤 坂 拓 郎
会計年度	大 沼 勇 樹	会計年度	奥 山 茂

◆北部研究所

所 長 (技)	福 島 泰 年		
副 所 長 (技)	荻 野 重 人		
総務・事業化・製品開発支援担当		担当部長(事)	増 田 文 之
専門研究員(技)	矢 澤 貞 春	担当課長(事)	恵利川 恵子
主任(技)	山 川 翔 平	主任専門員(事)	斎 藤 和 也
主任専門員(技)	井 上 英 之	技 師	山 田 夏 輝
主 事	和 田 誉 将	専 門 員 (技)	小 島 登 貴子
専 門 員 (事)	角 松 信 之	会 計 年 度	田 村 敏 行
食品・バイオ技術担当		担当部長(技)	横 堀 正 敏
専門研究員(技)	樋 口 誠 一	専門研究員(技)	山 川 徹 郎
専門研究員(技)	和 田 健 太朗	主 任 (技)	斎 藤 健 太
技 師	松 本 美 樹		
食品プロジェクト担当		担当部長(技)	仲 島 日出男
専門研究員(技)	原 田 雅 典	専門研究員(技)	海 野 まりえ
主任(技)	飯 塚 真 也	主 任 (技)	成 澤 朋 之
材料・機械技術担当		担当部長(技)	奥 野 慎
主任研究員(技)	秋 山 稔	主任研究員(技)	島 崎 景 正
専門研究員(技)	進 藤 久 宜	専門研究員(技)	鈴 木 理 博
主 任 (技)	高 橋 勝	技 師	横 山 雄 哉

(R5.3.31 現在)

#### 1.4 所在地、土地建物

◆ 埼玉県産業技術総合センター

所在地 川口市上青木三丁目12番18号

土地 18,352.58 平方メートル

建物  
 埼玉県産業技術総合センター 27,287.63 平方メートル  
 埼玉県生活科学センター 4,420.30 平方メートル  
 川口市立科学館 3,784.61 平方メートル  
 合 計 35,492.54 平方メートル

構造 地上9階/地下1階

◆ 北部研究所

所在地 熊谷市末広二丁目133番地

土地 5,923.30 平方メートル

建物  
 本 館 1,687.92 平方メートル  
 試 験 棟 494.27 平方メートル  
 新 館 602.84 平方メートル  
 試 験 棟 312.86 平方メートル  
 そ の 他 73.60 平方メートル  
 合 計 3,171.49 平方メートル

## 1.5 会計

### ◆歳入

(単位:円)

科 目	本 所	北部研究所	合 計
使用料及び手数料	<b>165,968,890</b>	<b>22,328,958</b>	<b>188,297,848</b>
使用料	104,621,790	6,805,498	111,427,288
総務使用料	2,927,677	413,218	3,340,895
商工使用料	101,694,113	6,392,280	108,086,393
手数料	61,347,100	15,523,460	76,870,560
商工手数料	61,347,100	15,523,460	76,870,560
国庫支出金	0	0	0
国庫補助金	0	0	0
商工費国庫補助金	0	0	0
財産収入	<b>18,110,748</b>	<b>447,000</b>	<b>18,557,748</b>
財産運用収入	18,110,748	0	18,110,748
財産貸付収入	18,110,748	0	18,110,748
財産売払収入	0	447,000	447,000
物品売払収入	0	0	0
生産物売払収入	0	447,000	447,000
諸収入	<b>100,184,987</b>	<b>575,187</b>	<b>100,760,174</b>
受託事業収入	12,884,100	0	12,884,100
商工受託事業収入	12,884,100	0	12,884,100
雑入	87,300,887	575,187	87,876,074
違約金及び延納利息	0	0	0
雑入	87,300,887	575,187	87,876,074
合 計	<b>284,264,625</b>	<b>23,351,145</b>	<b>307,615,770</b>

### ◆歳出

(単位:円)

科 目	本 所	北部研究所	合 計
総務費	<b>55,777,588</b>	<b>125,708</b>	<b>55,903,296</b>
総務管理費	2,746,106	125,708	2,871,814
一般管理費	2,726,666	15,000	2,741,666
人事管理費	19,440	33,708	53,148
財産管理費	0	77,000	77,000
防災費	0	0	0
消防防災費	0	0	0
県民費	53,031,482	0	53,031,482
消費者対策費	53,031,482	0	53,031,482
商工費	<b>561,391,544</b>	<b>63,865,816</b>	<b>625,257,360</b>
商工業費	561,391,544	63,865,816	625,257,360
商工総務費	18,752,877	3,206,037	21,958,914
商工振興費	24,377,339	915,048	25,292,387
産業技術総合センター費	518,261,328	59,744,731	578,006,059
農林水産業費	0	0	0
農業費	0	0	0
農業研究費	0	0	0
合 計	<b>617,169,132</b>	<b>63,991,524</b>	<b>681,160,656</b>

## 1.6 貸会議室等

### 1.6.1 多目的ホール、会議室の使用料等

(円)

階	区分 施設名	面積 (m <sup>2</sup> )	定員 (人)	午 前	午 後	夜 間	超 過 (1時間)
1	多目的ホール2	273.92	170	8,880	11,800	8,880	2,950
3	3A会議室	66.46	30	2,130	2,860	2,130	700
3	3B会議室	66.46	30	2,130	2,860	2,130	700
4	4A会議室	66.46	33	2,130	2,860	2,130	700
4	4B会議室	66.46	33	2,130	2,860	2,130	700
4	4C会議室	70.92	33	2,290	3,050	2,290	760

### 1.6.2 多目的ホール、会議室の利用件数、利用人数

	利用件数(件)				利用人数(人)			
	午 前	午 後	夜 間	計	午 前	午 後	夜 間	計
多目的ホール1	143	150	69	362	10,092	11,905	7,749	29,746
多目的ホール2	158	160	77	395	12,110	14,234	8,615	34,959
3A会議室	115	131	60	306	5,964	5,955	3,895	15,814
3B会議室	94	131	90	315	4,897	5,272	3,584	13,753
4A会議室	151	184	65	400	6,059	6,414	3,773	16,246
4B会議室	150	183	64	397	5,907	6,210	3,660	15,777
4C会議室	130	143	64	337	5,511	5,669	3,504	14,684
合 計	941	1,082	489	2,512	50,540	55,659	34,780	140,979

### 1.6.3 多目的ホール、会議室の利用者別利用件数

	県	川口市	その他 官公庁	公社 公団	入居商 工団体	他の商 工団体	民間 事業所	その他	合計
件 数	311	75	702	9	143	34	1,020	218	2,512
百分比(%)	12.4%	3.0%	27.9%	0.4%	5.7%	1.4%	40.6%	8.6%	100.0%

### 1.6.4 多目的ホール、会議室の利用目的別利用件数

	会議	研修会	講演会	大会	展示会	その他	合計
件 数	276	454	260	62	67	1,393	2,512
百分比(%)	11.0%	18.1%	10.3%	2.5%	2.7%	55.4%	100.0%

## 1.7 試験研究設備の整備状況

### 新規購入機械器具

品名	数量	銘柄・規格等	設置場所
イオンミリング装置	1	サンヨー電子(株) SVM-741	本所
高精度万能材料試験機(300kN) ※	1	(株)島津製作所 AGX-300kNV	本所
高精度万能材料試験機(100kN)	1	(株)島津製作所 AGX-100kNV	本所
純水・超純水製造装置一式	1	オルガノ(株) ピューリック PR-FP-0120 α-MT1 + TK-0060 α-S01 + DS-α-NA1	本所
試料準備装置	1	(株)ストルアス テグラミン-25	北部研究所
プレハブ冷蔵庫	1	ホシザキ PR-22CC-1.0 HUS-8RB-IV	北部研究所

※(公財)JKAの「公設試験研究所設備拡充補助事業」による

## 2 技術支援

中小企業の技術支援のため、技術相談・技術指導、企業からの依頼に応じた依頼試験、試験研究機器の開放等を行うとともに、スマートものづくり基盤の構築を支援した。

### 2.1 技術相談・技術指導

中小企業の生産活動における技術的課題の解決、新製品や新商品の開発等を支援するため、当センター職員による相談・指導及び外部の技術専門家等による技術相談・指導を実施した。

#### 2.1.1 職員による技術相談・技術指導

##### ◆本所

分類	項目	相談件数
機械関連	切削に関すること	315
	特殊加工に関すること	599
	設計に関すること	38
	精密測定に関すること	4,951
鋳物関連	鉄鋳物に関すること	26
	非鉄鋳物に関すること	46
	鋳型・鋳造方案に関すること	1
	鋳物不良対策に関すること	5
表面処理・熱処理関連	金属表面処理に関すること	179
	腐食、防食に関すること	240
	熱処理に関すること	54
	塗装技術に関すること	31
材料試験・組織等	成分分析(金属)に関すること	729
	成分分析(非金属)に関すること	908
	材料強度等に関すること	762
	材料の物性、工業規格に関すること	369
	顕微鏡組織観察等に関すること	603
	材料のクレーム対策に関すること	50
	非破壊検査に関すること	462
電気・電子・制御関連	自動化、省力化に関すること	119
	制御技術に関すること	2
	電気、電子技術に関すること	1,678
窯業関連	窯業(製造)技術に関すること	0
	セラミックス技術に関すること	10
プラスチック関連	プラスチック技術に関すること	496
	接着・複合化技術に関すること	23
デザイン関連	商品企画に関すること	143
	プロダクトデザインに関すること	17
	グラフィックデザインに関すること	2
福祉技術関連	福祉・リハビリテーション用具に関すること	151
環境技術関連	再資源化に関すること	11
	廃棄物処理に関すること	1
	環境等に関すること	1
	環境浄化技術に関すること	2
	省エネ技術に関すること	1
情報・共通関連 特記事項	技術情報一般に関すること	3
	機器操作に関すること	67
	製品開発に関すること	22
	生産技術に関すること	2
	材料・製品試験に関すること	1,802
	講習会、研修会等に関すること	24
	アドバイザー指導等に関すること	6
	異業種交流に関すること	8
	情報検索に関すること	0
	特許に関すること	9
	制度融資、補助金等に関すること	5
	経営相談	82
	放射線に関すること	0

	自動車関連(関東相互紹介例)	0
	その他上記以外の事項	201
	海外事業支援に関すること	37
	計 (うち実地指導件数)	15,293 (1,369)

◆北部研究所

分類	項目	相談件数
分析関連	組成・物性に関すること	13
	素材分析に関すること	4
	成分分析(金属)に関すること	105
	成分分析(非金属)に関すること	213
繊維・デザイン関連	染色加工等に関すること	0
	印刷技術に関すること	0
	染色堅ろう度等に関すること	0
	型紙調整等に関すること	0
	デザイン等に関すること	0
食品関連	酒類の製造に関すること	362
	穀類食品の製造に関すること	76
	調味料の製造に関すること	23
	漬物の製造に関すること	13
	その他食品の製造に関すること	43
	食品成分に関すること	29
	食品素材に関すること	25
	微生物・酵素に関すること	203
	食品分析に関すること	319
素材関連	原材料・薬剤・原料調整に関すること	2
	素材の応用技術に関すること	0
設計・生産関連	切削に関すること	1
	特殊加工(機械等)に関すること	1
	設計に関すること	2
	精密測定に関すること	302
	生産技術(機械等)に関すること	8
	材料・製品試験(機械等)に関すること	7
表面処理・熱処理関連	金属表面処理に関すること	60
	腐食・防食に関すること	120
	熱処理に関すること	2
	塗装技術に関すること	1
材料試験・組織等	材料の強度等に関すること	192
	材料の物性・工業規格に関すること	12
	顕微鏡組織観察等に関すること	210
	材料のクレーム対策に関すること	10
	非破壊検査に関すること	0
環境技術関連	再資源化に関すること	0
	省エネ技術に関すること	21
情報・共通関連	技術情報一般に関すること	49
	機器操作に関すること	93
	コンピューター等に関すること	1
	講習会・研究会・鑑評会に関すること	184
	技術アドバイザー指導等に関すること	28
	異業種交流に関すること	0
	法規・規格・表示に関すること	1
	産業情報等の提供に関すること	4
	行政情報等の提供に関すること	11
	放射線に関すること	0
	自動車関連(関東相互紹介例)	5
	その他上記以外の事項	6
	海外事業支援に関すること	0
	小計 (うち実地指導件数)	2,761 (448)

◆合計

機 関 名	相談件数 (うち実地指導件数)
本 所	15,293 (1,369)
北部研究所	2,761 (448)
合 計	18,054 (1,817)

2.1.2 現場改善・製品化支援事業

県内中小企業等の現場改善や製品化における課題を解決するため、依頼のあった企業に専門家を派遣した。その主な実績は、次のとおりである。

◆本 所

産 業 分 野	企業数
金属製品製造業	3
業務用機械器具製造業	1
その他	1
小 計	5

技術指導分野	件数
製品・製造工程の改善	1
品質管理技術の向上	1
規格・基準適合、認証取得	1
その他	2
小 計	5

◆北部研究所

産 業 分 野	企業数
食品製造業	2
小 計	2

技術指導分野	件数
新製品・新技術の開発	2
小 計	2

◆合計

機 関 名	指導企業数	指導日数
本 所	5	19
北部研究所	2	2
合 計	7	21

### 2.1.3 Designを活用した課題解決支援事業

県内中小企業等の新技術・新製品開発のためのデザイン力を強化するため、相談・支援体制を強化するとともに、商品企画デザイン塾等を開催した。その主な成果は、次のとおりである。

#### ○ デザイン相談

(1) 相談件数 150 件

(2) 相談会の実施

Zoom によるオンラインで次のとおり実施した。(コロナ禍のため外部出張による相談会はなし)

年月日	会場
R4.6.23	オンライン
R4.9.15	オンライン
R4.12.15	オンライン
R5.2.9	オンライン

#### ○ 新商品開発支援

15 件(延べ)

#### ○ 商品企画デザイン塾の開催

全 5 回(5 日間)、延べ 97 名受講 [詳細は 8.2 項 参照]

#### ○ 特別セミナーの開催

全 2 回、延べ 102 名受講 [詳細は 8.2 項 参照]

## 2.2 依頼試験

企業からの依頼に応じて、製品や部品、材料等の試験、測定、分析などを実施した。

### 2.2.1 依頼試験

依頼試験件数の多かった項目は、本所では機器分析、精密測定及び強度試験であり、北部研究所では機器分析、試験片調製及び表面処理試験であった(その他の依頼試験を除く)。

#### ◆本所

種 類	件 数	金額(円)	
分析	一般分析	271	669,790
	機器分析	3,158	16,431,390
材料試験	強度試験	2,284	2,692,290
	物理試験	129	687,570
	組織試験	767	2,758,050
	耐候性試験	98	543,220
	表面処理試験	788	2,785,300
測定及び検査	精密測定	2,375	5,478,040
	EMC測定	180	1,918,400
	非破壊測定及び検査	589	6,641,190
環境試験	衝撃試験装置による試験	8	110,400
調製	試験片調製	1,027	789,710
立会試験		1	1,320
その他の依頼試験		5,198	19,802,030
試験成績書の複本等	試験成績書の複製	34	8,840
	写真の焼増し又はカラー複写	6	2,400
小 計		16,913	61,319,940

#### ◆北部研究所

種 類	件 数	金額(円)	
分析	一般分析	161	182,370
	機器分析	1,076	5,111,500
材料試験	強度試験	254	194,340
	物理試験	47	117,500
	組織試験	342	1,374,350
	表面処理試験	377	2,268,810
測定及び検査	精密測定	296	643,650
官能試験	温度設定のない試験	4	1,040
調製	試験片調製	384	386,020
その他の依頼試験		1,304	5,271,210
小 計		4,245	15,550,790

#### ◆合計

機 関 名	件 数	金額(円)
本所	16,913	61,319,940
北部研究所	4,245	15,550,790
合 計	21,158	76,870,730

### 2.2.2 放射線測定依頼試験

平成 23 年 3 月の福島第一原子力発電所の事故発生により、放射能汚染の風評被害が工業製品にも起きた。風評被害に対応するため、平成 23 年度より工業製品の放射線測定の依頼試験を行っている。

尚、令和 3 年 3 月を以って、北部研究所での測定試験は終了した。

検査対象	検査内容	測定単位
1検体の一辺の大きさ 80cm 以内、重量 30kg 以内の工業製品(個体工業製品に限る)	サーベイメータによる製品表面の放射線量測定	cpm $\mu$ Sv/h

機 関 名	件 数	検体数
本所	0	0
合 計	0	0

### 2.2.3 技能試験

当センターは、(独法)製品評価技術基盤機構において、工業標準化法の規定に基づく製品試験を行う者(試験所)を対象とした登録制度に登録していたが、平成 29 年 3 月 31 日を以って登録廃止した。

但し、登録廃止後も下記の項目については、技能試験受験を継続している。

- ・燃焼—赤外線吸収法
- ・ロックウェル硬さ試験
- ・金属材料引張試験
- ・蛍光 X 線分析

## 2.3 機器開放

企業の研究開発を支援するため、試験研究機器の開放及び操作技術の認定研修を実施した。

### 2.3.1 機器開放

企業が利用できる機器は、設計・加工機器、表面観察機器、強度試験機器、精密測定機器、測定機器、試料調整機器、電気・電子測定機器、評価試験機器、分析機器に分類されている。

本所で特に利用件数の多かった機器は、電波暗室電磁波試験測定装置、シールドルーム電磁波試験測定装置、次いで電磁波障害対策室電磁波試験測定装置の順であった。利用時間として最も多かった機器は、恒温恒湿槽、次いで冷熱衝撃試験機、熱風循環乾燥機の順であった。

北部研究所で利用件数の多かった機器は、万能材料試験機(10kN)、次いで万能材料試験機(300kN)と波長分散型蛍光X線分析装置の順であった。利用時間として最も多かった機器は、冷熱衝撃試験機、次いで真空凍結乾燥機、恒温恒湿槽の順であった。

分類別の利用総額と利用件数及び利用時間は次のとおりであった。指導時間は、開放機器を使用する際の有料による指導の時間数である。

#### ◆本所

分類	利用総額 (円)	利用件数 (件)	利用時間 (時間)	利用金額 (円)	指導時間 (時間)	指導金額(円)
設計・加工機器	2,665,740	341	1,862	2,293,240	149	372,500
表面観察機器	216,950	177	580	216,950	0	0
強度試験機器	378,640	206	753	341,140	15	37,500
精密測定機器	4,858,400	474	2,243	3,543,400	526	1,315,000
測定機器	1,041,110	278	1,057	931,110	44	110,000
試料調製機器	678,440	40	3,594	675,940	1	2,500
電気・電子測定機器	27,288,080	914	3,616	23,865,580	1,369	3,422,500
評価試験機器	16,218,650	421	18,095	15,371,150	339	847,500
分析機器	1,584,890	230	553	1,547,390	15	37,500
小計	54,930,900	3,081	32,353	48,785,900	2,458	6,145,000

#### ◆北部研究所

分類	利用総額 (円)	利用件数 (件)	利用時間 (時間)	利用金額 (円)	指導時間 (時間)	指導金額(円)
設計・加工機器	20,160	15	61	20,160	0	0
表面観察機器	1,020	2	6	1,020	0	0
強度試験機器	524,970	204	983	434,970	36	90,000
精密測定器	842,110	96	375	674,610	67	167,500
測定機器	430,520	55	197	430,520	0	0
試料調製機器	1,212,300	38	3,054	1,209,800	1	2,500
評価試験機器	2,353,970	45	6,301	2,353,970	0	0
分析機器	974,210	134	455	951,710	9	22,500
小計	6,359,260	589	11,432	6,076,760	113	282,500

#### ◆合計

機関名	利用総額 (円)	利用件数 (件)	利用時間 (時間)	利用金額 (円)	指導時間 (時間)	指導金額(円)
本所	54,930,900	3,081	32,353	48,785,900	2,458	6,145,000
北部研究所	6,359,260	589	11,432	6,076,760	113	282,500
合計	61,290,160	3,670	43,785	54,862,660	2,571	6,427,500

(利用総額:利用金額と指導金額の合計)

### 2.3.2 機器操作技術認定研修

試験研究機器を利用するに当たり、一定の操作技術が必要なものは研修を実施し、認定証を発行した。

研修日数・参加人数(本所)	130日・278人
研修日数・参加人数(北部)	62日・94人

## 2.4 AI・IoT技術支援事業

低コスト輸入製品の激増や雇用問題に直面する県内企業に対し、AI・IoTを活用した既存生産設備の改良による先進生産システムやスマート工場化に対応したものづくり基盤の構築を支援した。

### 2.4.1 スマートものづくり支援事業

技術職員が企業を訪問して、既存生産設備に対するセンサー・制御網の配備、情報通信網による接続、生産管理システムの導入など、改造、増設を含めた設備改造の提案、助言を行う他、SAITEC に整備した実証環境(SAITEC 検証ラボ)による検証試験等により、県内中小企業のスマートものづくり基盤構築を支援した。

・支援企業:29社

### 2.4.2 AI活用支援

画像診断ソフトや深層学習 AI システムにより、製品の良品・不良品判定の検証試験を行い、AI 導入による効果などを企業に示した。また、深層学習 AI システム、機械学習 AI システムを活用して、企業の製造現場に低コストで導入できるようなプログラムの開発を行い、受託研究等で企業支援を行った。

機械学習 AI システムにおいて音響・振動に加え、AE(アコースティック・エミッション、材料の変形、破壊の際に内部に蓄積していた弾性エネルギーを放出する現象)にも対応するためのプログラム開発・解析を行い、支援機能を拡充した。

・支援企業:15社

### 2.4.3 地方版 IoT 推進ラボ

平成 28 年度に経済産業省と IoT 推進ラボが実施している地方版 IoT 推進ラボに、埼玉県 IoT 推進ラボとして選定され、令和 4 年度も継続して活動した。

・構成:埼玉県産業技術総合センター、(公財)埼玉県産業振興公社、(公財)さいたま市産業創造財団

### 2.4.4 ものづくり AI・IoT 化支援事業

令和 2 年度、令和 3 年度に引き続き、(公財)埼玉県産業振興公社と連携し、簡易で安価なボードコンピュータを活用した研修を実施した。令和 4 年度は、Raspberry Pi 活用研修を実施し、センサーデータの取得や表示等を体験してもらうことで企業の IoT 化を推進した。また、希望する企業に対して SAITEC による伴走支援を行った。

- ・第1回 令和 4 年 8 月 25 日～9 月 30 日 受講者 52 社 54 名(オンデマンド型の Web セミナー)
- ・第2回 令和 4 年 12 月 16 日～令和 5 年 1 月 31 日 受講者 33 社 52 名(オンデマンド型の Web セミナー)
- ・伴走支援 13 件

## 2.5 Support×Tech(サポテック)によるものづくり環境の変革推進事業

AI/IoT 等テクノロジーの急激な進歩を背景に、設計、試作プロセスのデジタル化による省力化、省資源化、形状最適化による高付加価値化が求められている。SAITEC のデジタルものづくり環境を活用した支援や、技術の普及啓発を行った。

### 2.5.1 埼玉県デジタルものづくり研究会

3D データを活用したデジタルものづくりについて、広く情報交換を行う場を提供する。

- ・会員 88 社
- ・第1回デジタルものづくりセミナー 令和 4 年 9 月 2 日 参加者 23 名
- ・第2回デジタルものづくりセミナー 令和 4 年 11 月 7 日 参加者 26 名
- ・第3回デジタルものづくりセミナー 令和 4 年 12 月 13 日 参加者 10 名
- ・第4回デジタルものづくりセミナー 令和 5 年 2 月 16 日 参加者 14 名

## 2.6 技術支援等による実用化・商品化

技術支援及び研究開発等によって、企業が技術を実用化または開発したものを製品開発の基礎としたり、試作や商品化等した案件は 23 件である。

代表的な例を次に挙げる。

- (1) 自社技術を活用したキャンプ用品の開発
- (2) 3D プリンタでの部品試作による製品開発支援
- (3) リニューアル製品に対する外装デザイン支援
- (4) 自社独自製品の新規開発支援

## 2.7 培養酵母の頒布

種 別	本 数	金 額 (円)
酒類用酵母等	735	441,000
味噌用酵母	4	6,000
合計	739	447,000

# 3 研究開発

埼玉県産業技術総合センターでは、県内産業の技術力強化を図るため、社会的ニーズや新技術・新製品の開発及び生産システム等の課題に対応した研究開発や企業からの依頼による受託研究等を実施し、研究成果の発表や技術相談・指導等を通じて研究成果の技術移転を行った。

また、研究の計画及び終了段階における外部評価委員による研究評価、外部専門家の客員研究員による研究指導等、研究の効果的・効率的推進に努めた。

## 3.1 研究開発

### 3.1.1 政策的研究課題

#### (1) 政策的研究開発事業(産業支援研究)

##### ◆本所

- 蓄電デバイスの高性能化
- 新炭素系ナノ材料を用いた PEFC 用電極の開発
- バイオプラスチック成形品の付加価値を向上させる成形加工技術
- 車椅子バスケットボール用車椅子の最適化と設計指針開発
- 未知試料の概略組成の初度的判別ツールの開発

##### ◆北部研究所

- グルテンフリー米粉パンの風味制御技術の確立
- 熱誘起相分離を伴うゾルゲル反応を利用したシリカ多孔材料の合成

#### (2) 新技術開発推進事業(独創的技術形成研究、技術支援高度化研究)

##### ◆本所

- 炭素繊維強化ポリカーボネートの劣化抑制方法の検討
- 環境試験機の遠隔監視システムの構築
- ADAM 方式積層造形物の強度評価に関する研究
- 急凝固法による蓄電池用マグネシウム合金の開発
- AIを用いた火災発生リスクの可視化に関する研究
- 集束イオンビーム装置を用いたマイクロ配線の電気特性評価
- 軽度異常色覚者のための色覚補正ツールの開発と検証
- 金属 3D プリンタを用いた Inconel 625 合金造形物の力学的評価
- 電波暗室測定の遠隔指導支援システムの構築

##### ◆北部研究所

- エンジニアリングプラスチックに対応した熱溶解積層方式 3D プリンタヘッドの開発
- 中小企業の IT 化促進するシステムへの応用
- 醤油製造工程におけるヒスタミン生成菌の迅速検出技術の開発

(3) 競争的研究費による研究開発等

[令和4年度戦略的基盤技術高度化支援事業 関東経済産業局]

○製品の色に基準値を与えることで AI 自動配色できる総合色管理システムの開発

[燃料電池等利用の飛躍的拡大に向けた共通課題解決型産学官連携研究開発事業 NEDO]

○固体高分子形燃料電池用接着シール技術の研究開発

3.1.2 受託研究等

(1) 企業からの受託研究

	件数	金額 (円)
本所	8	2,186,800
北部研究所	8	1,380,300
計	16	3,567,100

(2) 外部競争的研究費による受託研究

	件数	金額 (円)
本所	0	0
北部研究所	1	9,317,000
計	1	9,317,000

(3) 外部競争的研究費による研究開発(補助金、助成金)

	件数	金額 (円)
本所	1	199,973
北部研究所	0	0
計	1	199,973

※科研費を除く

3.1.3 科学研究費助成事業(科研費)

平成 26 年 10 月 15 日付で科学研究費補助金取扱規程に規定する研究機関に指定された。機関番号は 82410 である。

(1) 応募

応募時期	研究種目	応募数	
		研究代表者	研究分担者
令和 4 年 5 月	研究活動スタート支援	1	-
令和 4 年 10 月	基盤研究(B)	-	2
令和 4 年 10 月	基盤研究(C)	1	1

(2) 採択 1 件

研究区分	テーマ	所	研究者区分	交付額	
				直接経費 (千円)	間接経費 (千円)
基盤研究(C)	車椅子上の足底接地の条件に着目した誤嚥防止に有効な座位姿勢の解明	本所	研究分担者	200	60

(3) 実施

研究区分	テーマ	所	研究者区分	交付額	
				直接経費 (千円)	間接経費 (千円)
基盤研究(C)	福祉用具の開発および利活用の促進のための、安全性・機能性担保方策の探求	本所	研究代表者	※a 1,690 (1,000)	※a 390 (330)
若手研究	麺製品の風味形成に影響する生地中の酸化酵素の挙動とその制御	北部	研究代表者	1,000	300
基盤研究(C)	寝たきり患者が車椅子シーティングを活用するための看護援助方法の検証	本所	研究分担者	50	15
基盤研究(C)	高齢者の心身機能と生活行為に着目した車椅子シーティングに用いる包括的評価法の開発	本所	研究分担者	100	30

※a 外部へ支払う分担金を含む。カッコ内は分担金を除いた金額。

### 3.2 客員研究員

外部の専門家・有識者を当所の客員研究員として依頼し、当所が進める各分野の研究に対して助言指導を受けた。

客員研究員		指導分野	指導日数
埼玉大学	坂井 建宣 氏	先端ものづくり	1
東京都立大学	信太 奈美 氏	ヘルスケア	3
東京保健医療専門職大学	杉山 真理 氏	ヘルスケア	2
石川県立大学	本多 裕司 氏	農林・食品	3
帝京平成大学	前田 竜郎 氏	農林・食品	1
高崎健康福祉大学	辻 聡 氏	農林・食品	2
東京電機大学	椎葉 究 氏	農林・食品	1
7 名		3 分野	13

### 3.3 研究成果の公表

#### 3.3.1 センター主催の発表

##### ◆本所

SAITEC オープンラボ（掲載論文『埼玉県産業技術総合センター研究報告第20巻』）

年月日	発表題目	発表者名
R4.9.15	電気化学プロファイルによる水中炭酸濃度評価	化学技術担当 熊谷 知哉
	Raspberry Pi を用いた遠隔監視システムの構築方法	事業化製品化支援担当 小林 達哉、 材料・機械技術担当 横山 雄哉
	リチウム金属二次電池の開発	電気・電子技術・ 戦略プロジェクト担当 栗原 英紀
	リチウムイオンキャパシタの高性能化	電気・電子技術・ 戦略プロジェクト担当 栗原 英紀
	新炭素系ナノ材料を用いた PEFC 用電極の開発	化学技術担当 稲本 将史
	車椅子バスケットボール用車椅子の最適化と設計指針開発	電気・電子技術・ 戦略プロジェクト担当 半田 隆志
	熱誘起相分離を伴うブルーゲル反応を利用したシリカ多孔材料の合成	食品プロジェクト担当 飯塚 真也
	バイオプラスチック成形品の付加価値を向上させる成形加工技術	機械技術担当 山田 岳大
	機械学習 AI による CFRP 破壊過程の AE 波形評価方法の開発	電気・電子技術・ 戦略プロジェクト担当 白石 知久

##### ◆北部研究所

SAITEC 北部研究所研究・支援成果発表会

年月日	発表題目	発表者名
R4.11.25	グルテンフリー米粉パンの風味制御技術の確立	食品プロジェクト担当 仲島 日出男
	未利用小麦ストリーム粉の活用による国産小麦パンの風味向上	食品プロジェクト担当 原田 雅典
	酒造原料米の品質評価へのAI活用	食品・バイオ技術担当 齋藤 健太
	熱誘起相分離を伴うブルーゲル反応を利用したシリカ多孔材料の合成	食品プロジェクト担当 飯塚 真也
	材料・機械技術分野における依頼試験に関わる事例	材料・機械技術担当 秋山 稔

### 3.3.2 学会等への発表

#### ◆本所

年月日	発表題目	発表者名	口頭発表	論文
			発表会名	掲載誌名
R4.6.14	Effects of seat position on the performance of a basketball player in wheelchairs	Nami Shida, Takashi Handa, et. al.	European Seating Symposium 2022	
R4.6.14	Powered wheelchair seating to facilitate the enjoyment of university life	Mari Sugiyama, Takashi Handa	European Seating Symposium 2022	
R4.8.21	車椅子バスケットボールの競技成績向上のための適合性の分析	半田隆志 他	LIFE 2022	
R4.8.21	車椅子試験用ダミーと、座クッションマイクロクライメット試験方法の評価	半田隆志 他	LIFE 2022	
R4.10.20	毒劇物を用いない熱硬化性樹脂CFRPへのめっき方法	熊谷知哉	TIRIクロスミーティング	
R4.10.25	Shear measurement and measurement of cushion's shear properties	半田隆志 他	ISO/TC 173/SC 1/WG 11会議	
R4.10.26	Measurement of Center of Mass	半田隆志 他	ISO/TC 173/SC 1/WG 1会議	
R4.11.12	レーザー加工によるマグネシウム蓄電池用負極材料の電気化学活性向上	附田之欣、木倉健成、田畑裕信、栗原英紀、鈴木真由美、会田哲夫	軽金属学会 第143回秋季大会	
R4.11.12	急凝固法によるマグネシウム蓄電池負極材料用Mg-Al-Ca系薄帯の電気化学活性に及ぼすSn添加の影響	木倉健成、附田之欣、田畑裕信、栗原英紀、鈴木真由美、会田哲夫	軽金属学会 第143回秋季大会	
R4.11.12	急凝固法によるマグネシウム蓄電池用Mg-Cu系負極材料薄帯の電気化学活性に及ぼすCu添加の影響	山田陽太、附田之欣、木倉健成、田畑裕信、栗原英紀、鈴木真由美、会田哲夫	軽金属学会 第143回秋季大会	
R4.11.12	大気中急凝固法によるマグネシウム蓄電池用Mg-6%Al-3%Ca合金負極材料薄帯の製造条件検討	池田実、附田之欣、田畑裕信、栗原英紀、鈴木真由美、会田哲夫	軽金属学会 第143回秋季大会	
R4.11.12	急凝固法によるマグネシウム蓄電池用Mg-Al-Ca系負極材料薄帯のマイクロ組織	鈴木真由美、青木健太郎、附田之欣、田畑裕信、栗原英紀、会田哲夫	軽金属学会 第143回秋季大会	
R4.11.22	Improvement on electrochemical activity of anode materials for magnesium rechargeable batteries by laser processing	T. Tsukeda, K. Kikura, T. Aida1, H. Tabata, H. Kurihara, and M. Suzuki	ICP MAT 2022 Shanghai	
R4.11.22	Investigation of manufacturing conditions of single roll rapidly solidified ribbon for anode materials of Mg rechargeable batteries by using thermal-hydraulics	Y. Kirimoto, T. Tsukeda, T. Aida, Y. Nemoto, M. Ikeda4, H. Tabata, H. Kurihara, M. Suzuki	ICP MAT 2022 Shanghai	

R4.11.22	Effect of process parameters on anode activity of Mg6%Al-3%Ca alloy ribbons manufactured by single-roll atmospheric rapid solidification method for Mg rechargeable batteries	K. Fuke, T. Tsukeda, T. Aida, M. Ikeda, H. Tabata, H. Kurihara, M. Suzuki	ICP MAT 2022 Shanghai	
R4.11.22	Effect of Cu content on electrochemical activity in MgCu binary alloys prepared by single role rapid solidification method	Y. Yamada, S. Fukui, Y. Fukuta, T. Tsukeda, T. Aida, H. Tabata, H. Kurihara, M. Suzuki	ICP MAT 2022 Shanghai	
R4.12.16	人工膝関節置換術支援システムのユーザビリティ向上に向けた操作方法の検討	吉村智香子、半田隆志 他	HCGシンポジウム2022	
R5.3.9	車椅子バスケットボールの競技力向上に向けた情報提示	土屋直紀 半田隆志 他	電子情報通信学会総合大会	

◆北部研究所

年月日	発表題目	発表者名	口頭発表	論文
			発表会名	掲載誌名
R4.8.26	高灰分ストリーム粉の添加による国産小麦を原料としたパンの風味の変化	成澤 朋之	日本食品科学工学会第69回大会	
R4.9.5	酒造原料米の消化性 Brix の予測に関する研究	齋藤 健太	第45回酒米懇談会	第45回酒米懇談会講演要旨集
R4.10.21	発芽玄米ごはんパンの開発	仲島 日出男	千葉県産業支援技術研究所オープンリサーチ2022	
R5.3.11	国産小麦の製パン工程における味・香り成分の変化	仲島 日出男	日本食品科学工学会令和5年度関東支部大会	

### 3.4 研究課題の評価

#### 3.4.1 研究評価委員会

令和4年度の研究成果について、成果普及の方向性や今後の展開について検討するため、外部専門家を含めた研究評価委員会を開催し、事後評価を行った。併せて、令和5年度に実施予定の研究課題について、課題選定や研究計画の洗練を図るための事前評価を行った。

#### ○研究評価委員会

外部委員

〈令和4年2月22日開催〉

(国研) 産業技術総合研究所 臨海副都心センター	所長代理	鷹 觜 利 公 氏
(地独) 東京都立産業技術研究センター	特任技術アドバイザー	山 中 忠 衛 氏
(一社) 埼玉県中小企業診断協会	会長	高 澤 彰 氏
技術融合ネットワーク	代表	野 口 満 氏
埼玉大学 研究機構オープンイノベーションセンター	センター長	松 岡 浩 司 氏

#### 3.4.2 中間評価

研究の進捗状況を把握し、その進行を適切に管理するために中間ヒヤリングを以下のとおり実施した。

・産業支援研究 令和4年10月31日

## 4 研究開発支援

中小企業の研究開発支援及び産学官連携を推進するため、技術相談や共同研究による企業の支援を行った。また、研究発表会等を開催し、SAITEC の研究成果を紹介した。さらに、特許の取得推進とその利用に努めた。

### 4.1 産学官連携の推進

#### 4.1.1 産学官連携推進について

SAITEC における研究開発について、県内企業等と共同研究を行うなどして連携の推進を図った。外部競争的資金については、産学官連携により継続 2 件のテーマを実施した。

また、SAITEC の研究発表会(オープンラボ等)の開催や、産業交流展など他機関主催の展示会へも積極的に参加し研究等の説明を行った。

さらに、産学連携支援センター埼玉が主催する産学連携ネットワーク会議に参加し、県内工科系大学及び県内金融機関等と産学官連携の情報交換、連携推進を行った。

#### 4.1.2 産学官連携関連展示会(主催事業)

##### (1) SAITEC オープンラボ

SAITEC の研究・事業成果の展示・発表及び、連携機関(先端産業課、TKF、埼玉大学)の取組紹介などを県内企業等に向けて行った。

開催日: 令和 4 年 9 月 15 日(水) 10:00 ~ 17:00

開催方法: 会場+オンラインのハイブリッド開催

(基調講演:会場開催+ライブ配信、基調講演以外:会場開催)

会場: 埼玉県産業技術総合センター

来場者: 48 名

内容: SAITEC 及び連携公設試験研究機関の研究成果発表、基調講演、デザイン相談、知的財産相談  
SAITEC、先端産業課及び外部研究機関(TKF、埼玉大学)の成果展示、5G 体験、施設見学会

##### ①研究成果発表

SAITEC 職員による発表 9 テーマ [内容は 3.3.1 項を参照]

他県公設試からの発表 3 テーマ (東京都、神奈川県、千葉県)

##### ②基調講演

テーマ「5G 時代の DX 推進 -5G/IoT を活用した製造業の課題解決-

(株)ドコモビジネスソリューションズ ソリューション営業部 埼玉支店長 塩澤 光康 氏

テーマ「中小製造業でのSDGs取り組みのメリットと事例紹介」

(株)産業革新研究所 取締役/テクノロジスト 大岡 明 氏

##### ③施設見学会(3 コース 19 名参加)

##### (2) SAITEC 北部研究所研究・支援成果発表会

当研究所の研究・支援成果を発表した。併せて、食品開発を促進するための埼玉ブランド食品開発支援セミナーを開催した。

開催日: 令和 4 年 11 月 25 日(金) オンライン開催

参加者: 39 名

内容: ①SAITEC の研究・支援成果発表 5 テーマ[内容は 3.3.1 項を参照]

##### ②第 3 回埼玉ブランド食品開発支援セミナー

「関東経済産業局のフードテックの取組について」

関東経済産業局地域経済部次世代産業課 課長補佐 秋山千奈津 氏

講演「フードテックの概要と動向について」

(株)シグマクシス ヒューリスティックシェルパ/プリンシパル 増田拓也 氏

事例紹介①「酒蔵・味噌蔵・醤油組合・農業の中小 4 社が食品ロス削減に挑む」

越後ど発酵共同プロジェクト事務局((株)プラントフォーム)遠崎英史 氏

事例紹介②「駅弁が時空間を超える～老舗弁当屋が 5 種類の駅弁を冷凍販売～」

(株)桃中軒 代表取締役社長 宇野秀彦 氏

#### 4.1.3 産学官連携に関連する展示会

令和4年度は、外部機関からの出展依頼のあったものについても積極的に出展した。

令和4年度の出展実績は以下のとおりである。

年月日	展示会の名称	開催場所	参加人数
R4.10.19～10.21	産業交流展 2022	東京ビッグサイト南展示棟	87(会場)
R4.10.12～11.4		オンライン	
R5.2.8～2.9	彩の国ビジネスアリーナ 2023	さいたまスーパーアリーナ	87(会場)
R5.2.1～2.15		オンライン	

## 4.2 助成制度への取り組み

埼玉県産業技術総合センターでは、県内中小企業の技術的支援機関として、国等の助成制度(補助金、委託事業等)を積極的に活用するための取り組みを行っている。

### 4.2.1 研究開発型企业支援事業

県内中小企業に対し、国等が実施する助成制度への応募に向けて、大学、(国研)農業・食品産業技術総合研究機構などの国立研究開発法人等との連携の基に支援を行った。

結果、外部競争的研究費では、新規1テーマ及び継続1テーマを実施した。

### 4.2.2 埼玉県産業技術総合センターが参加する産学官共同研究実施実績

施策名(実施機関)	プロジェクト名	共同研究体制
令和4年度戦略的基盤技術高度化支援事業 (関東経済産業局)	製品の色に基準値を与えることでAI自動配色できる総合色管理システムの開発	(株)中川ケミカル(研究代表者) 日本色研事業(株) 埼玉大学 (一財)日本色彩研究所
燃料電池等利用の飛躍的拡大に向けた共通課題解決型産学官連携研究開発事業 (NEDO)	固体高分子形燃料電池用接着シール技術の研究開発	東京工業大学 (国研)産業技術総合研究所 (国研)物質・材料研究機構 兵庫県立大学法人 大阪大学 名古屋工業大学

### 4.3 特許の取得推進とその活用

#### 4.3.1 産業財産権の一覧

令和4年度は、新たに7件の特許出願があった。

(1) 特許権(センターが所有する特許全47件(未公開8件含む)のうち、登録又は出願公開されたもの)

番号	名 称	出願年月日 出願番号	公告・開年月日 公告・開番号	登録年月日 登録番号	発明者	備考
1	発酵風味菓子の製造方法	H15.6.6 特願 2003-162045	H16.12.24 特開 2004-357631	H20.9.19 4188146	井上 和春	みたけ食品工業(株)、 (株)愛工舎製作所 共同
2	粘弾性測定装置および 粘弾性測定方法	H15.10.31 特願 2003-372299	H17.5.26 特開 2005-134295	H21.4.24 4299100	關根 正裕 荻野 重人	(有)サンズコーポレー ション 共同
3	漬床及びこれを用いた漬物の製 造方法	H16.3.30 特願 2004-098398	H17.10.13 特開 2005-278531	H20.10.24 4205006	井上 和春 大澤 千恵子	みたけ食品工業(株) (株)愛工舎製作所、 東洋大学 共同
4	大腸菌群の汚染源特定方法及 びその検出に使用する大腸菌 群検出用培地セット	H17.8.8 特願 2005-229680	H19.2.22 特開 2007-43921	H23.7.29 4789540	富永 達矢 關根 正裕	
5	センサー機能付アクチュエ ータ装置および粘弾性測定 装置	H18.7.20 特願 2006-198697	H20.2.7 特開 2008-29111	H25.2.8 5190606	關根 正裕	(有)サンズコーポレーシ ョン、(有)カトランスフォー ム、共同
6	身体傾斜角計測器および身体 ねじれ角計測器	H19.5.29 特願 2007-141889	H20.12.11 特開 2008-295527	H23.12.16 4885795	半田 隆志	他2名共同
7	動的粘弾性測定装置	H21.6.1 特願 2009-131935	H22.2.4 特開 2010-25923	H25.8.2 5327532	山田 岳大 關根 正裕	
8	加熱調理装置	H21.6.8 特願 2010-516841	H21.12.17 PCT/JP2009/60429	H24.11.9 5130363	關根 正裕 樋口 誠一 高橋 学 常見 崇史	(株)T.M.L、 学校法人早稲田大 学 共同
9	変位拡大装置	H20.9.8 特願 2008-229737	H22.3.25 特開 2010-68549	H25.5.2 5256414	荻野 重人	
10	品質評価装置	H20.10.27 特願 2008-275700	H22.5.6 特開 2010-101839	H25.6.7 5282231	關根 正裕 栗原 英紀 富永 達矢	(株)真韻 共同
11	ドレッシング及びその製造方法	H20.12.26 特願 2008-331697	H22.7.8 特開 2010-148468	H25.11.15 5407035	井上 和春	みたけ食品工業 (株)、東洋大学、 (株)愛工舎製作所 共同
12	射出成型装置	H21.4.28 特願 2009-110173	H22.11.18 特開 2010-260175	H22.11.19 4628476	山田 岳大	PLAMO(株) 共同
13	正極活物質、マグネシウム二次 電池および正極活物質の製造 方法	H21.11.17 特願 2009-261903	H23.6.2 特開 2011-108478	H26.3.20 5499281	栗原 英紀 斉田 吉裕 稲本 将史	
14	加熱調理装置、および、加熱調 理方法	H22.3.12 特願 2012-504256	H23.9.15 WO/2011/111231	H25.10.18 5386701	關根 正裕	(株)T.M.L、 (株)新井機械製作 所 共同
15	バーチャルウエスタンブロッテ ィングシステム	H22.4.28 特願 2012-512589	H23.11.3 WO/2011/135692	H27.1.30 5685777	關根 正裕	(株)エヌビー健康研 究所 共同
16	米飯製造方法及び米飯製造装 置	H24.1.29 特願 2012-009321	H25.8.1 特開 2013-146224	H28.5.27 5938588	關根 正裕	(株)T.M.L、 早稲田大学 共同
17	樹脂接合方法	H24.2.17 特願 2012-032540	H25.8.29 特開 2013-166904	H29.4.14 6123047	關根 正裕 小熊 広之 佐野 勝	

番号	名 称	出願年月日 出願番号	公告・開年月日 公告・開番号	登録年月日 登録番号	発明者	備考
18	ガイド器具設置誤差検出装置	H24.8.10 特願 2012-178914	H26.2.27 特開 2014-36700	H29.4.14 6123061	半田 隆志	アルスロデザイン (株)、埼玉医科大学 共同
19	接着剤及び樹脂接合方法	H24.8.17 特願 2012-180727	H26.2.27 特開 2014-37489	H29.3.3 6097914	關根 正裕 小熊 広之 佐野 勝	
20	固体樹脂の接合方法	H24.11.22 特願 2012-256570	H26.6.9 特開 2014-105215	H29.6.9 6152528	山田 岳大	前澤化成工業 (株) 共同
21	角度計測システム及びプログラム	H24.12.6 特願 2012-267211	H26.6.26 特開 2014-113197	H30.3.30 6311096	半田 隆志	アルスロデザイン (株)、 (株)レキシー 共同
22	吸熱マット、保護カバー	H24.12.11 特願 2012-270444	H26.6.26 特開 2014-115885	H29.9.15 6205548	關根 正裕	市原清二 共同
23	アクチュエータ	H25.3.27 特願 2013-66299	H26.10.6 特開 2014-193015	H29.5.26 6145674	荻野 重人	
24	位置決め機構	H26.1.31 特願 2014-17257	H27.8.6 特開 2015-143783	H30.7.20 6369741	荻野 重人	
25	試料の水蒸気透過度測定装置 及び水蒸気透過度測定方法	H27.3.5 特願 2015-043135	H28.9.5 特開 2016-161527	H30.12.14 6446683	飯塚 真也	
26	電解液及びマグネシウム二次電池	H27.7.13 特願 2015-139770	H29.1.26 特開 2017-22024	R1.7.19 6554645	栗原 英紀 稲本 将史	本田技研工業(株) 共同
27	酸素還元触媒、その製造方法 および燃料電池	H28.8.18 特願 2016-160323	H30.2.22 特開 2018-29011	R3.3.16 6853630	栗原 英紀 稲本 将史	
28	圧子押し込み装置	H28.9.26 特願 2016-186939	H30.4.5 特開 2018-054318	R2.7.13 6733395	荻野 重人	
29	濾過シート材のひだ折り装置、 そのシステム及び方法	H29.1.26 特願 2017-012360	H30.8.2 特開 2018-118218	R3.7.6 6908901	奥野 慎	東洋精機(株) 共同
30	正極活物質、正極活物質の製 造方法、正極および二次電池	H29.9.15 特願 2017-177820	H31.4.4 特開 2019-053910	R4.1.11 7006066	栗原 英紀 稲本 将史	三桜工業(株)、 (株)田中化学研 究所 共同
31	水蒸気透過度及び質量変化測 定装置並びにその測定方法	H29.10.17 特願 2017-200956	R1.5.16 特開 2019-074418	R3.12.15 6994216	飯塚 真也	
32	移動式ダクト清掃装置	H29.12.6 特願 2017-234478	R1.6.24 特開 2019-098287	R4.5.18 7075633	荻野 重人 山崎 彰太	
33	電気化学デバイス用電極材およ びその製造方法	H30.7.13 特願 2020-530283	R2.1.16 WO2020/013327		栗原 英紀 稲本 将史	日本金属(株) 共同
34	電気化学デバイス用電極材	H30.7.13 特願 2020-530284	R2.1.16 WO2020/013328		栗原 英紀 稲本 将史	中央工産(株)、 日本金属(株) 共同
35	炭素繊維強化樹脂基材の表面 にめっき皮膜を有する物品の製 造方法	R1.9.25 特願 2019-174171	R3.4.1 特開 2021-050387		熊谷 知哉 出口 貴久 須川 真希代	
36	野菜結束装置	R2.3.16 特願 2020-45450	R3.9.27 特開 2021-145562		奥野 慎 金木 祐介 山川 翔平	東洋精機(株) 共同
37	リチウム二次電池用電解質媒体 及びリチウム二次電池	R2.9.17 特願 2020-156005	R4.3.30 特開 2022-49787		栗原 英紀 稲本 将史	本田技研工業(株) 共同
38	水分活性測定装置及び水分活 性測定方法	R3.4.14 特願 2021- 68634	R4.10.26 特開 2022-163610		飯塚真也	

番号	名 称	出願年月日 出願番号	公告・開年月日 公告・開番号	登録年月日 登録番号	発明者	備考
39	複合材料及び多孔体の製造方法	R3.7.16 特願 2020-156005	R5.1.26 特開 2023-013553		飯塚真也	

(R5.3.31 現在)

(2) 実用新案登録

番号	名 称	出願年月日 出願番号	登録年月日 登録番号	考案者	備考
1	ひだ折り濾紙用広角漏斗	H29.12.18 実願 2017-5693	H30.2.7 3215155	奥野 慎	東洋精機(株) 共同

4.3.2 実施許諾

令和4年度は計2件の実施許諾契約を締結し、実施許諾企業数は合計17社(実施許諾特許数は25件)となった。

## 5 交流

県内中小企業の技術交流を支援するとともに、他の鉱工業公設試験研究機関との交流に努めた。また、講演会、審査会、各種会議等に職員を派遣した。

### 5.1 異業種交流支援事業

#### 5.1.1 産学官交流プラザ

埼玉県技術交流プラザ終了企業を中心として発足し、技術及び経営等に関する情報交換等を行った。総会・役員会の開催は合計5回であった。また、講演会を2回行った。主な活動実績は次のとおりである。

会 長：岩崎 一隆 (株)岩崎食品工業 会長  
会員数：23社

年月日	開催場所	内 容
R4.5.19	埼玉県産業技術総合センター	第1回役員会 総会に関する打合せ
R4.5.19	埼玉県産業技術総合センター	総会 令和3年度 事業報告、決算報告 令和4年度事業計画、予算計画 令和4年度役員を選任
R4.8.18	オンライン	第2回役員会(Zoom開催) 講演会の打ち合わせ
R4.9.16	大宮ソニックシティ	第1回例会 講演会「未来のために ～今、何をすべきか～」
R4.10.4	オンライン	第3回役員会(Zoom開催) 講演会の打ち合わせ
R4.12.9	埼玉県産業技術総合センター	第2回例会 講演会「デジタルものづくり時代に備える 待ったなし！中小製造業の勝ち残り戦略」
R5.3.6	埼玉県産業技術総合センター	第4回役員会 令和4年度事業決算準備と総会日程について

### 5.2 新技術情報交流支援（研究会・交流会の開催）

各種研究会、交流会を支援するため、各会事務局を担当した。

#### 5.2.1 鋳物技術委員会

本委員会は本県鋳物工業の生産技術の向上を目的として設立され、鋳造技術コンクール、鋳造技術に関する講演会・講習会の内容の検討等を主な事業としている。なお、委員会は県依頼の委員3名、業界依頼の委員4名及び川口市職員1名、県職員2名の10名の委員にオブザーバー1名の合計11名で構成する。

令和4年度は2回開催され、出席者は延べ31名であった。

(役員) 委員長 ものつくり大学 名誉教授 鈴木 克美 氏  
(事務局) 埼玉県産業技術総合センター 材料技術担当  
川口鋳物工業協同組合 組合支援課

### 5.2.2 埼玉県熱処理技術研究会

本会は、熱処理関連企業の熱処理技術の向上を目的として昭和 44 年 6 月に設立され、講演会の開催、工場見学、会報の発行を主な事業としている。

令和 4 年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、総会を書面表決、講演会を1回開催し、参加者は延べ 62 名であった。

(会員数) 50 社  
(役員) 会長 山方技術士事務所 山方 三郎 氏  
副会長 (株)伸和熱処理 時枝 宏幸 氏  
" (有)中村熱処理工業所 中村 賢一 氏  
" 日新化熱工業(株) 横山 聡洋 氏  
(事務局) 埼玉県産業技術総合センター 材料技術担当

### 5.2.3 清酒製造技術研究会

県産清酒の品質向上、清酒の多様化に対応する品質設計、清酒本来の香味に富み市場価値の高い清酒について研究を行うために研究会を開催した。

(会員数) 34 社  
(事務局) 埼玉県産業技術総合センター北部研究所 食品・バイオ技術担当

#### (1) 新酒研究会

全国新酒鑑評会出品酒或いは同等の清酒を出品酒と同様の条件で保管した後に官能評価する。保管による酒質変化を検討し、今後の出品管理の一助にする。併せて、きき酒能力の向上を図る。

実施日:令和 4 年 5 月 12 日

出品点数:12 点(10 場)

参加者: 9 名( 7 場)

#### (2) 市販清酒研究会

流通過程における品質について外装審査、官能評価及び成分分析の試験調査を行って把握し、新製品開発の一助にする。併せて、きき酒能力の向上を図る。

実施日:令和 4 年 7 月 6 日

調査試料:味覚センサーで評価したい清酒

出品点数:18 点

参加者:28 名(埼玉県吟友会会員、製造担当者、彩の国酒造り学校生徒、他)

#### (3) 清酒研究会

清酒の多様化に対応する品質並びに清酒本来の香味に富み市場価値の高い清酒について研究を行うために出品酒の官能評価を行い、製造管理及び貯蔵・出荷管理について検討する。また吟醸酒のきき酒を行い、酒質判定能力の向上を図る。

実施日:令和 4 年 9 月 9 日

出品点数:吟醸酒の部 33 点(13 場)

純米吟醸酒の部 29 点(15 場)

純米酒の部 6 点( 5 場)

参加者:17 名(杜氏、酒造担当者)

#### (4) 吟醸酒研究会

令和 3 酒造年度全国新酒鑑評会金賞受賞杜氏をパネラーとし、パネルディスカッション等を通じて吟醸酒造りの技術水準向上を図る。

実施日:令和 4 年 9 月 16 日

参加者:22名(杜氏、酒造担当者)

パネルディスカッション:「吟醸酒づくりの要点」

パネリスト 小山本家酒造(株)	二宮杜氏
(株)釜屋	松沼杜氏
五十嵐酒造(株)	小林杜氏
滝澤酒造(株)	滝澤杜氏
武甲酒造(株)	長谷川杜氏
(株)矢尾本店	矢尾杜氏

講話:「吟醸造りについて」

講師:北西酒造(株) 製造部醸造課課長 村上大介 氏

#### (5) 杜氏酒造研究会

清酒製造について本酒造年度における問題点を提起し、今後の酒造管理に反映させる。また、吟醸酒のきき酒を行い、酒質の判定能力の向上を図る。

実施日:令和5年3月17日

参加者:16名(杜氏、酒造担当者)

きき酒研究会

個別指導

話題提供:「近年の研究成果等について」 北部研究所 主任 齋藤健太

#### 5.2.4 埼玉ブランド食品開発研究会

県内中小食品関連企業が行う高付加価値食品開発や商品化・販売促進など(ブランド化)を支援するために設置。情報提供、開発・試作に係る技術支援、埼玉ブランド食品づくり支援専門アドバイザーの派遣や製品のPR支援を行った。

令和4年度は研究会を2回、セミナーを4回開催し、参加者はのべ109名であった。また、専門アドバイザーを4社にのべ15回派遣した。会員企業が4件、商品化した。

(会員数) 22社

(事務局) 埼玉県産業技術総合センター北部研究所 総務・事業化・製品開発支援担当

第1回 6月17日ハイブリッド開催(参加者:34名(会場参加15名、オンライン参加19名))

テーマ:高齢化の進展に対応した食品開発

第2回 9月2日オンライン開催(参加者:15名)

テーマ:健康食品類における広告表現のポイント

第3回 11月25日オンライン開催(参加者:39名)

テーマ:フードテックの概要と動向について

事例紹介①:酒蔵・味噌蔵・醤油組合・農業の中小4社が食品ロス削減に挑む

事例紹介②:駅弁が時空間を超える～老舗弁当屋が5種類の駅弁を冷凍販売～

第4回 3月6日会場開催(参加者:21名)

テーマ①:中小企業が経営に活かせるSDGs～食品製造業等の取組事例から～

テーマ②:中小企業におけるハラルビジネスの可能性

### 5.3 首都圏連合推進事業(公設試版)【研究発表:他県を含む】

首都圏の工業系公設試験研究機関が人材交流や設備機器の相互利用、情報の共有化などを図るとともに技術連携や事業連携などを通じて、広域的な産業支援体制を確立することにより首都圏産業の活性化を図った。

#### 5.3.1 首都圏公設試連携推進会議の開催(第62回)

令和4年11月29日(火) (地独)東京都立産業技術研究センター(担当:(地独)神奈川県立産業技術総合研究所)

#### 5.3.2 首都圏公設試連携推進会議(第16回TKFオープンフォーラム)の開催

令和4年10月21日(金) ホテルグリーンタワー幕張(担当:千葉県産業支援技術研究所)

### 5.3.3 研究発表者相互派遣事業

#### (1) 発表者派遣

- ① TIRI クロスミーティング 2022 への参加  
令和4年10月19日(水)～10月21日(金)  
・材料技術・事業化支援室 化学技術担当 主任研究員 熊谷 和哉  
「毒劇物を用いない熱硬化性樹脂 CFRP へのめっき方法」
- ② 千葉県産業支援技術研究所オープンリサーチ 2022 への参加  
令和4年10月21日(金)  
・北部研究所 食品プロジェクト担当 担当部長 仲島 日出男  
「発芽玄米ごはんパンの開発」

#### (2) 発表者受入

- ① SAITEC オープンラボ  
令和4年9月15日(木)  
東京都 1名  
神奈川県 1名  
千葉県 1名

### 5.3.4 パートナー・グループ事業

#### (1) TKF デザインパートナーグループ会議

年月日	場 所	参 加 者
R5.3.8	オンライン (担当：東京都立産業技術研究センター)	事業化製品化支援担当 原田 勝利

### 5.3.5 TKFミニインターンシップ事業

#### (1) 研究者派遣

派遣元	派遣先	期間・人日	内容
材料技術担当 小熊広之、小野裕也、久野磨衣子、萩元祥史	群馬県立産業技術センター	R4.9.6 4人日	材料分析・評価
材料・機械技術担当 高橋勝	群馬県立産業技術センター	R4.9.9 1人日	環境試験、強度試験
材料・機械技術担当 横山雄哉	(地独)東京都立産業技術研究センター	R4.9.14,27 2人日	3Dものづくり
材料技術担当 小熊広之、小野裕也、久野磨衣子	(地独)東京都立産業技術研究センター	R4.9.21 3人日	強度試験
食品プロジェクト担当 原田雅典、成澤朋之	山梨県産業技術センター	R4.10.14 2人日	食品分析 クリープ試験装置

#### (2) 研究者受入

派遣元	派遣先	期間・人日	内容
群馬県立産業技術センター	材料技術担当 菊池和尚	R4.9.21 1人日	非破壊検査(X線CT)
山梨県産業技術センター	食品・バイオ技術担当	R4.11.16,17 4人日	日本酒試験醸造

### 5.3.6 広域首都圏輸出製品技術支援センター(略称:MTEP)

首都圏の公設試が連携して実施する中小企業の海外展開支援サービスで、国際規格や海外の製品規格についての相談や情報提供、海外の製品規格に適合した評価試験について技術的な支援を実施するもので、平成24年10月24日(地独)東京都立産業技術研究センター内に開所し、令和4年度は以下の事業を行った。

#### (1) 県内企業の利用実績

494件 (機器利用・依頼試験を含む)

#### (2) 連携会議の開催

令和4年11月29日(火) (地独)東京都立産業技術研究センター

### 5.3.7 地域未来投資促進法に基づく連携支援事業

関東地域のものづくり中小企業の次世代自動車産業への参入にむけて、首都圏公設試連携体(TKF)を構成する首都圏1都3県1市の公設試験研究機関を中心とする10の産学官金の各機関が連携して、製品開発から販路開拓までの一貫した支援を実施した。

次世代自動車産業への参入により、これまでの画一的な市場に向けた「ものづくり」から脱却し、ユーザーエクスペリエンス等の高い付加価値製品を作る「コトづくり」への転換を図る企業を包括的に支援した。

#### (1) 事業普及活動

連携支援事業の活用法や支援事例を紹介した。

##### ① SAITECオープンラボ

令和4年9月15日(木) 埼玉県産業技術総合センター

## 5.4 RINGS NET (新潟、群馬、埼玉 3県公設試連携)

新潟県、群馬県及び埼玉県の工業系公設試験研究機関が人材交流や設備機器の相互利用、情報の共有化などを行うとともに技術連携や事業連携などを通じて、広域的な産業支援体制を確立することを目的に設立。

### 5.4.1 担当分野別交流会等の開催

#### (1) 上信越静公設研ネット機関長会議(オブザーバー参加)

令和4年度は開催中止

## 5.5 講演会等講師派遣

### ◆本所

年月日	名称	会場	内容	講師
R4.4.13	埼玉大学大学院講義	埼玉大学	「新材料の製品化プロセス特論」	栗原 英紀 半田 隆志
R4.4.20	埼玉大学大学院講義	埼玉大学	「新材料の製品化プロセス特論」	栗原 英紀 半田 隆志
R4.4.27	埼玉大学大学院講義	埼玉大学	「新材料の製品化プロセス特論」	栗原 英紀
R4.5.11	埼玉大学大学院講義	埼玉大学	「新材料の製品化プロセス特論」	栗原 英紀
R4.5.18	埼玉大学大学院講義	埼玉大学	「新材料の製品化プロセス特論」	栗原 英紀
R4.5.25	埼玉大学大学院講義	埼玉大学	「新材料の製品化プロセス特論」	栗原 英紀
R4.6.1	埼玉大学大学院講義	埼玉大学	「新材料の製品化プロセス特論」	栗原 英紀
R4.6.8	埼玉大学大学院講義	埼玉大学	「新材料の製品化プロセス特論」	栗原 英紀
R4.6.15	埼玉大学大学院講義	埼玉大学	「新材料の製品化プロセス特論」	半田 隆志
R4.6.22	埼玉大学大学院講義	埼玉大学	「新材料の製品化プロセス特論」	半田 隆志
R4.6.29	埼玉大学大学院講義	埼玉大学	「新材料の製品化プロセス特論」	半田 隆志
R4.7.6	埼玉大学大学院講義	埼玉大学	「新材料の製品化プロセス特論」	半田 隆志
R4.7.6	経済産業省 国際標準化人材育成講座	日本規格協会	国際標準化交渉経験談	半田 隆志
R4.7.13	埼玉大学大学院講義	埼玉大学	「新材料の製品化プロセス特論」	半田 隆志
R4.7.20	埼玉大学大学院講義	埼玉大学	「新材料の製品化プロセス特論」	半田 隆志
R4.7.27	埼玉大学大学院講義	埼玉大学	「新材料の製品化プロセス特論」	半田 隆志

年月日	名 称	会 場	内 容	講 師
R4.8.3	埼玉大学大学院講義	埼玉大学	「新材料の製品化プロセス特論」	半田 隆志
R4.8.5	埼玉大学産学官連携協議会 金型積層造形技術研究会 キックオフ	埼玉大学	埼玉大学 産学官連携協議会	南部 洋平
R4.11.14	経済産業省 国際標準化人材育成講座	日本規格協会 関西支部	国際標準化交渉経験談	半田 隆志
R5.1.17	経済産業省 国際標準化人材育成講座	日本規格協会	国際標準化交渉経験談	半田 隆志

◆北部研究所

年月日	名 称	会 場	内 容	講 師
R4.4.4～8,11～15,18～22,25～28	令和4年度彩の国酒造り学校	北部研究所	酒造実習	齋藤 健太 樋口 誠一 和田 健太朗 横堀 正敏 松本 美樹 山川 徹郎
R4.5.11,18	令和4年度彩の国酒造り学校	北部研究所	微生物実習	齋藤 健太 樋口 誠一 和田 健太朗 横堀 正敏 松本 美樹 山川 徹郎
R4.6.8	令和4年度彩の国酒造り学校	北部研究所	官能評価実習	齋藤 健太 樋口 誠一 和田 健太朗 松本 美樹 山川 徹郎 横堀 正敏
R4.6.22～24	令和4年度彩の国酒造り学校	北部研究所	分析実習	樋口 誠一 松本 美樹 齋藤 健太 横堀 正敏 和田 健太朗
R4.6.28	女子栄養大学 食品開発・品質管理概論 特別講義	女子栄養大学坂戸キャンパス	食品開発あるいは品質管理に関する研究	小島 登貴子
R4.7.6	令和4年度彩の国酒造り学校	北部研究所	きき酒	齋藤 健太 樋口 誠一 和田 健太朗 松本 美樹 山川 徹郎
R4.8.23	分析等講習会	北部研究所	成分分析等	齋藤 健太 樋口 誠一 和田 健太朗 松本 美樹 山川 徹郎
R4.9.5	第45回酒米懇談会	酒類総合研究所、Zoomによるオンライン同時配信	酒造原料米の消化性Brixの予測に関する研究	齋藤 健太

## 5.6 技術評価等派遣

新製品開発等の補助金、企業の提案課題などの技術評価及びその他審査会等に職員を派遣した。

年月日	行事等名称	主催
R4.4.20～22	令和3酒造年度全国新酒鑑評会(予審)	日本酒造組合中央会/(独法)酒類総合研究所
R4.4.27	NEDO「研究開発型スタートアップ支援事業書審査」	NEDO
R4.5.30	NEDO「官民による若手研究者発掘支援事業書審査」	NEDO
R4.6.7	川口 i-mono ブランド・i-waza ブランド第1回認定協議会	川口商工会議所
R4.6.28	草加モノづくりブランド認定事業 第1回実行委員会	草加モノづくりブランド実行委員会
R4.6.29	AI・IoT 人材育成研修(先端技術視察コース)委託先選定委員会	埼玉県産業振興公社
R4.7.1	オーダーメイド型 AI 研修委託先選定委員会	埼玉県産業振興公社
R4.7.6	技能検定(鋳鉄鋳物鋳造作業)審査会	埼玉県職業能力開発協会
R4.7.7	AI・IoT 人材育成研修(技術者養成コース)委託先選定委員会	埼玉県産業振興公社
R4.7.11	NEDO「研究開発型スタートアップ支援事業書審査」	NEDO
R4.7.26	令和4年度埼玉県酒造組合行田支部・熊谷支部合同夏期技術相談(初呑切会)	埼玉県酒造組合行田支部・熊谷支部
R4.8.1	第1回川口新製品等開発振興奨励審査会	(公財)川口産業振興公社
R4.8.5	川口市産業技術・技能者顕彰制度審査委員会 第1回審査委員会	川口市
R4.8.5	2022年西部ブロック呑切り	埼玉県酒造組合西部ブロック
R4.8.19	LIFE 2022	日本生活支援工学会、ライフサポート学会、日本機械学会
R4.8.25	技能検定実技試験 酒造	埼玉県職業能力開発協会
R4.9.8	第1回彩の国技能者表彰審査会	産業人材育成課
R4.9.8	茨城県清酒鑑評会 2022	茨城県酒造組合/茨城県産業技術イノベーションセンター
R4.9.12	川口市産業技術・技能者顕彰制度審査委員会 第2回審査委員会	川口市
R4.9.21	第2回川口新製品等開発振興奨励審査会	(公財)川口産業振興公社
R4.9.28～29	第93回関東信越国税局酒類鑑評会品質評価1審	関東信越国税局
R4.10.5	川越ものづくりブランド KOEDO E-PRO 認定有識者会議	川越市、川越商工会議所
R4.10.6	第93回関東信越国税局酒類鑑評会品質評価2審	関東信越国税局
R4.10.21	第57回熊谷染作品競技会審査会	熊谷染継承の会
R4.10.22	埼玉県児童・生徒発明創意くふう展 審査会	埼玉県発明協会 埼玉県産業教育振興会
R4.10.24	第11回鋳造技術コンクール(軽合金)審査会	川口鋳物工業協同組合
R4.10.25	第48回埼玉県鋳造技術コンクール審査会	川口鋳物工業協同組合
R4.11.8	八潮ブランド認定評価会	八潮市
R4.11.8	八潮市優良技術者及び技能者の選定に係る評価会	八潮市
R4.11.8	川口 i-mono ブランド・i-waza ブランド認定協議会審査部会	川口商工会議所
R4.11.30	川口 i-mono ブランド・i-waza ブランド第2回認定協議会	川口商工会議所

R4.12.21	草加モノづくりブランド認定事業 現地調査	草加モノづくりブランド実行委員会
R4.12.26	草加モノづくりブランド認定事業 第2回実行委員会	草加モノづくりブランド実行委員会
R5.1.5	Made in SAITAMA 優良加工食品大賞 2023	農業ビジネス支援課
R5.1.17、19	技能検定実技試験 パン製造	埼玉県職業能力開発協会
R5.2.2	第2回彩の国技能者表彰審査会	産業人材育成課
R5.2.12	埼玉県ふるさと認証食品「みそ」官能審査会	農業ビジネス支援課
R5.3.9	新酒合同持ち寄り研究会	埼玉県酒造組合

## 5.7 会議等への参加

### ◆本所

年月日	会議名	会場	出席者
R4.4.6	ISO/TC 173/SC 1/WG 1 会議	オンライン	半田 隆志
R4.5.9	ライフサポート学会 理事・企画部会	オンライン	半田 隆志
R4.5.10～11	ISO/TC 173/SC 1/WG 11 会議	オンライン	半田 隆志
R4.5.27	産学連携支援ネットワーク会議(幹事会)	新都心ビジネス交流プラザ	井上 裕之
R4.6.1	(一社)日本計算工学会 第10回公設試シンポジウム	オンライン	増子 陽一 都知木 邦裕
R4.6.6	産業技術連携推進会議 関東甲信越静地域部会 企画調整分科会(第1回)	オンライン	渡邊 哲
R4.6.15～16	プラスチック成形加工学会第33回年次大会	オンライン	山田 岳大
R4.6.16	自動車への車椅子ワンタッチ固定 ISO 開発委員会	オンライン	半田 隆志
R4.6.16～17	産業技術連携推進会議 第30回デザイン分科会 春季開催	福岡県久留米市 久留米シティプラザ	赤坂 拓郎 大沼 勇樹
R4.6.17	電動車椅子自動走行 ISO 開発委員会	オンライン	半田 隆志
R4.6.20	(一社)日本計算工学会 第1回オープン会合	オンライン	増子 陽一
R4.6.22	医療用ベッド国際標準分科会	オンライン	半田 隆志
R4.6.22	川口機械工業協同組合 第1回総務委員会	川口機械工業協同組合 会議室	増子 陽一
R4.6.27	産学連携支援ネットワーク会議(連絡会議)	書面開催	—
R4.6.28	第77回新加工技術専門委員会	オンライン	山田 岳大
R4.7.1	スーパーサイエンスハイスクール第1回運営指導委員会	浦和第一女子高等学校	出口 貴久
R4.7.13	自動車への車椅子ワンタッチ固定 ISO 開発委員会	オンライン	半田 隆志
R4.7.19	自動車への車椅子ワンタッチ固定 ISO 開発委員会	オンライン	半田 隆志
R4.7.20	川口機械工業協同組合 第2回総務委員会	川口機械工業協同組合 会議室	増子 陽一
R4.7.22	車椅子国際標準分科会	オンライン	半田 隆志

年月日	会 議 名	会 場	出席者
R4.8.24	川口機械工業協同組合 第3回総務委員会	川口機械工業協同組合 会議室	増子 陽一
R4.8.29	ライフサポート学会 編集委員会	オンライン	半田 隆志
R4.9.22	川口機械工業協同組合 第4回総務委員会ほか	川口機械工業協同組合 会議室	増子 陽一
R4.9.26～27	産技連 医療福祉技術シンポジウム	シンフォニアテクノロジー響ホール伊勢	半田 隆志
R4.10.6	第7回地方公設試験研究機関金属AM技術担当者会議	大阪産業技術研究所和泉センター	南部 洋平 都知木 邦裕
R4.10.13～14	産業技術連携推進会議 製造プロセス部会 第28回表面技術分科会	あいち産業科学技術研究センター	内藤 理恵
R4.10.21	産業技術連携推進会議 関東甲信越静地域部会 第2回関東技術交流分科会	ホテルグリーンタワー幕張	福田 保之 出口 貴久 能戸 崇行 宗形 隆史 川 翔真
R4.10.21～22	産業技術連携推進会議 情報通信・エレクトロニクス部会 情報技術分科会 第15回音・振動研究会	山梨県産業技術センター 甲府技術支援センター	岩崎 翼 女鹿 貴信
R4.10.24	川口機械工業協同組合 第5回総務委員会	川口機械工業協同組合 会議室	南部 洋平
R4.10.24～28	ISO/TC 173 会議 他	ドイツ規格協会	半田 隆志
R4.10.27	産業技術連携推進会議 ナノテクノロジー・材料部会 第60回高分子分科会	オンライン	山田 岳大 田中 拓也 大澤 旺欣
R4.10.27	産業技術連携推進会議 第31回デザイン分科会 秋季開催	オンライン	赤坂 拓郎 大沼 勇樹
R4.10.28	PHOENICS オンライン・ユーザーカンファレンス2022	オンライン	鳥羽 遼子
R4.11.16～18	産業技術連携推進会議 知的基盤部会 第26回電磁環境分科会および第31回EMC研究会	KKR ホテル熊本	能戸 崇行
R4.11.17	産業技術連携推進会議 製造プロセス部会 積層造形研究会	オンライン	南部 洋平 都知木 邦裕
R4.11.18	産業技術連携推進会議 情報通信・エレクトロニクス部会 情報技術分科会 組込み技術研究会総会	オンライン	鈴木 浩之 中澤 赳史
R4.11.22	産業技術連携推進会議 関東甲信越静地域部会 企画調整分科会(第2回)	オンライン	渡邊 哲
R4.11.22	川口機械工業協同組合 第6回総務委員会ほか	川口機械工業協同組合 会議室	南部 洋平
R4.11.22	ISO/TC173 国内検討委員会	オンライン	半田 隆志
R4.11.28～29	プラスチック成形加工学会 第30回秋季大会	同志社大学 新町キャンパス	山田 岳大
R4.11.29	第62回首都圏公設試験連携推進会議、第2回広域首都圏輸出製品技術支援センター連携会議	(地独)東京都立産業技術研究センター	渡邊 哲 井上 裕之
R4.11.29	産業技術連携推進会議 関東甲信越静地域産業技術連携推進会議・産業技術連携推進会議 関東甲信越静地域部会 合同総会	(地独)東京都立産業技術研究センター	渡邊 哲 井上 裕之
R4.11.29	自動車への車椅子ワンタッチ固定ISO開発委員会	オンライン	半田 隆志
R4.11.30	日本マグネシウム協会、第2回マグネシウム電池普及委員会例会	京橋区民館 1号室	栗原 英紀
R4.12.2	車椅子国際標準分科会	オンライン	半田 隆志

年月日	会 議 名	会 場	出席者
R4.12.7	福祉用具一般通則ISO開発委員会	オンライン	半田 隆志
R4.12.7	産業技術連携推進会議 知的基盤部会 計測分科会 形状計測研究会前日ミーティング	オンライン	増子 陽一 蓮 俊介 長野 隼人 磯脇 海
R4.12.8	産業技術連携推進会議 知的基盤部会 計測分科会 形状計測研究会／関東甲信越静地域部会計測技術研究会	オンライン	増子 陽一 蓮 俊介 長野 隼人 磯脇 海
R4.12.8	産業技術連携推進会議 ナノテクノロジー・材料部会・高分子分科会	オンライン	山田 岳大 田中 拓也 大澤 旺欣
R4.12.9	産業技術連携推進会議 知的基盤部会 計測分科会年会	オンライン	増子 陽一 蓮 俊介 長野 隼人 磯脇 海
R4.12.9	電動車椅子自動走行ISO開発委員会	オンライン	半田 隆志
R4.12.14	川口機械工業協同組合 第7回総務委員会	川口機械工業協同組合 会議室	増子 陽一
R4.12.15～16	産業技術連携推進会議 知的基盤部会分析分科会年会・知的基盤部会総会	宝山ホール(鹿児島県)	稲本 将史 焼田 裕之 横森 千博
R4.12.19	第79回新加工技術専門委員会	オンライン	山田 岳大
R4.12.19	全国鉦工業試験研究機関事務連絡会議 関東甲信越静ブロック会議	書面開催	—
R4.12.26	自動車への車椅子ワンタッチ固定 ISO 開発委員会	オンライン	半田 隆志
R4.12.27	発泡・超臨界流体利用加工技術専門委員会	オンライン	山田 岳大
R5.1.13	車椅子牽引用レバーJIS開発委員会	オンライン	半田 隆志
R5.1.19	川口機械工業協同組合 第8回総務委員会	川口機械工業協同組合 会議室	南部 洋平
R5.1.20	産業技術連携推進会議 知的基盤部会 電磁環境分科会 第20回関東甲信越静EMC 研究交流会 および MTEP(広域首都圏輸出製品技術支援センター) EMC パートナーグループ会	埼玉県産業技術総合センター	出口 貴久 能戸 崇行 関根 俊彰 香西 良彦 天沼 晃
R5.2.2	令和4年度産業技術連携推進会議ナノテクノロジー・材料部会総会	オンライン	山田 岳大
R5.2.4	スーパーサイエンスハイスクール第2回運営指導委員会	浦和第一女子高等学校	出口 貴久
R5.2.7	自動車への車椅子ワンタッチ固定ISO開発委員会	オンライン	半田 隆志
R5.2.14	第63回 産業技術連携推進会議 総会	オンライン	福田 保之
R5.2.15	川口機械工業協同組合 第9回総務委員会及びポリテクセンター埼玉 令和4年度人材育成研究会	川口機械工業協同組合 会議室	増子 陽一
R5.2.16	埼玉県プラスチック振興会東日本プラスチック製品工業協会埼玉支部令和5年合同新年会	埼玉会館	山田 岳大
R5.2.17	産業技術連携推進会議 関東甲信越静地域部会 企画調整分科会(第3回)	オンライン	渡邊 哲
R5.2.17	産業技術連携推進会議 関東甲信越静地域部会 関東技術交流分科会 第2回幹事会	オンライン	宗形 隆史
R5.2.17	プラスチック資源の持続可能な利用促進プラットフォーム第5回総会	埼玉会館	山田 岳大
R5.2.21	第113回全国公設鉦工業試験研究機関事務連絡会議	書面開催	—

年月日	会 議 名	会 場	出席者
R5.2.28	埼玉県創造的異業種交流会	大宮ソニックシティ	半田 隆志
R5.3.8	令和4年度TKFデザインパートナーグループ情報交換会	オンライン	原田 勝利
R5.3.13	第80回新加工技術専門委員会	オンライン	山田 岳大
R5.3.15	川口機械工業協同組合 第10回総務委員会	川口機械工業協同組合 会議室	増子 陽一
R5.3.22	第4回 未来志向射出成形技術シンポジウム	東京大学生産技術研究所 An棟コンベンションホール オンライン並列開催	山田 岳大
R5.3.22	リハビリテーション工学カンファレンス実行委員会	オンライン	半田 隆志
R5.3.23	川口機械工業協同組合 インボイス制度対策セミナー	川口機械工業協同組合 会議室	増子 陽一
R5.3.29	産学連携支援ネットワーク会議(総会)	新都心ビジネス交流プラザ	井上 裕之

◆北部研究所

年月日	会 議 名	会 場	出席者
R4.8.26	第48回酒米研究会	オンライン	齋藤 健太
R4.9.22	彩の国酒造り学校第8期卒業式	北部研究所	福島 泰年 横堀 正敏 樋口 誠一 和田 健太郎 齋藤 健太 山川 徹郎 松本 美樹
R4.10.21	第67回全国酒造技術指導機関合同会議	オンライン	横堀 正敏 齋藤 健太
R4.10.26～ 11.8	アグリビジネス創出フェア2022	東京国際展示場 東京ビッグサイト	仲島 日出男 樋口 誠一 小島 登貴子 田村 敏行
R4.11.15	令和4年度食品工業協会人材育成研修会	マロウドイン熊谷	福島 泰年 横堀 正敏 奥野 慎 樋口 誠一
R4.12.15	産業技術連携推進会議 知的基盤部会 分析分科会	オンライン	秋山 稔 原田 雅典
R5.1.27	さけ武蔵生産組合 生産者会議	いるま野農業協同組合(JA いるま野) 第一営農販売センター	齋藤 健太
R5.2.9	全国食品関係試験研究場所長会 令和5年度定期総会	つくば国際会議場	福島 泰年
R5.3.9	農林水産消費安全技術センター 令和4年度食品表示関係調査研究評価委員会	さいたま新都心合同庁舎	仲島 日出男
R5.3.29	令和4酒造年度春季清酒鑑評会表彰式	マロウドイン熊谷	福島 泰年 横堀 正敏 樋口 誠一 和田 健太郎 齋藤 健太 松本 美樹

## 6 情報提供

当センターの利用を促進し、業務の成果・結果などを公表するため、SAITEC オープンラボ等の開催・各種印刷物の発行やウェブサイト上での情報発信を行った。また、記者発表等を行うことにより、各種メディアに取り上げられた。

### 6.1 技術普及業務

#### 6.1.1 SAITEC オープンラボ

SAITEC の研究・事業成果の展示・発表及び、連携機関(先端産業課、TKF、埼玉大学)の取組紹介などを県内企業等に向けて行った。

開催日：令和4年9月15日(木) 10:00～17:00

開催方法：会場＋オンラインのハイブリッド開催

(基調講演：会場開催＋ライブ配信、基調講演以外：会場開催)

会場：埼玉県産業技術総合センター

来場者：48名

内容：SAITEC 及び連携公設試験研究機関の研究成果発表、基調講演、デザイン相談、知的財産相談  
SAITEC、先端産業課及び外部研究機関(TKF、埼玉大学)の成果展示、5G体験、施設見学会

##### ①研究成果発表

SAITEC 職員による発表 9テーマ [内容は3.3.1項を参照]

他県公設試からの発表 3テーマ (東京都、神奈川県、千葉県)

##### ②基調講演

テーマ「5G時代のDX推進 -5G/IoTを活用した製造業の課題解決-」

(株)ドコモビジネスソリューションズ ソリューション営業部 埼玉支店長 塩澤 光康 氏

テーマ「中小製造業でのSDGs取り組みのメリットと事例紹介」

(株)産業革新研究所 取締役/テクノロジスト 大岡 明 氏

##### ③施設見学会(3コース 19名参加)

#### 6.1.2 SAITEC 北部研究所研究・支援成果発表会

当研究所の研究・支援成果を発表した。併せて、食品開発を促進するための埼玉ブランド食品開発支援セミナーを開催した。

開催日：令和4年11月25日(金) オンライン開催

参加者：39名

内容：(1)SAITEC の研究・支援成果発表 5テーマ[内容は3.3.1項を参照]

(2)第3回埼玉ブランド食品開発支援セミナー

「関東経済産業局のフードテックの取組について」

関東経済産業局地域経済部次世代産業課 課長補佐 秋山千奈津 氏

講演「フードテックの概要と動向について」

(株)シグマクシス ヒューリスティックシェルパ/プリンシパル 増田拓也 氏

事例紹介①「酒蔵・味噌蔵・醤油組合・農業の中小4社が食品ロス削減に挑む」

越後ど発酵共同プロジェクト事務局((株)プラントフォーム) 遠崎英史 氏

事例紹介②「駅弁が時空間を超える～老舗弁当屋が5種類の駅弁を冷凍販売～」

(株)桃中軒 代表取締役社長 宇野秀彦 氏

#### 6.1.3 研究報告

研究報告 第20巻(令和3年度) 令和4年12月発行(Web上)

## 6.2 利用促進

### 6.2.1 業務報告

令和3年度 業務報告 令和4年8月発行(Web上)

### 6.2.2 インターネットによる技術情報の提供

#### (1) ウェブページ

当センターのインターネットウェブページで主に以下の内容について情報提供した。

- ・平成15年度～令和3年度研究報告
- ・依頼試験の案内、開放機器の案内、開放機器研修日程
- ・貸会議室、貸研究室
- ・研修会、講演会等開催の案内
- ・他機関の各種支援情報
- ・セミナー、講習会情報
- ・新規導入機器の紹介

#### (2) メールマガジン

県内中小企業の新技術・新製品の開発を支援するため、当センターに関連する産業情報をメールマガジンにより迅速に発信した。

発行回数：15回(定期発行12回 臨時発行3回)

#### (3) インターネット技術相談

電子メールによる「インターネット技術相談窓口」には2,620件の問い合わせがあった。

### 6.2.3 記者発表

年月日	タイトル
R4.6.1	SAITECは5G技術を活用したDX推進を支援します —自治体初ドコモ5G DXスクエアの取組へ参画します—
R4.6.17	県ホームページ(産業技術総合センター)の 「お問い合わせフォーム」からの連絡の不達について
R4.9.2	「令和4年度 SAITEC オープンラボ」参加者募集！ ～事例から学ぶ課題解決の新しい視点～

### 6.2.4 マスメディア報道

#### (1) 新聞報道

年月日	新聞名	内容
R4.4.8	埼玉新聞	(株)三共へのデザイン支援
R4.5.31	日刊工業新聞 第2部	県幹部に聞く
R4.6.14	日刊工業新聞	5G活用体験セミナーの開催
R4.6.15	日刊工業新聞	インキュベーション施設の入居者募集
R4.6.19	埼玉新聞	お問い合わせフォームの不具合について
R4.9.27	埼玉新聞	彩の国酒造り学校 卒業式
R4.10.19	鉄鋼新聞	ゴーキン「Gokin Peg」の紹介(SAITEC 支援製品)
R4.11.19	北日本新聞	次世代蓄電池に新材料、マグネシウム加工法確立
R4.12.5	読売新聞	「彩のきずな」日本酒に
R5.2.10	食品経済新聞	3月6日に食品関連セミナーを開催
R5.2.16	毎日新聞	県 循環型経済推進へ(北部研究所を「食の再資源化トライアル拠点」に)

#### (2) その他雑誌報道

年月日	雑誌名	内容
R4.9.1	彩の国だより 9月号	県産米特集 「米の活用、研究中」
R4.11.1	川口機械工業組合 会報誌	・埼玉県産業技術総合センター(SAITEC)について ・中小企業向けサイバーセキュリティ対策について
R4.12.1	埼玉りそな経済情報	(株)ペリカン紹介(SAITEC 支援企業)
R5.3.1	川口商工会議所会報 3月号	ごはんパンの紹介
R5.3.27	さいしんコラボ産学官 コラボだより	埼玉県産業技術総合センターの紹介

### 6.2.5 関連機関等との連携強化

県内中小企業を支援する関連機関等を訪問して当センターの事業紹介と意見交換を行い、連携を強化した。

(1) 商工団体

川口商工会議所、さいたま商工会議所、川越商工会議所、所沢商工会議所、八潮商工会、熊谷商工会議所、深谷商工会議所、本庄商工会議所、秩父商工会議所

(2) 金融機関

埼玉りそな銀行、武蔵野銀行、埼玉縣信用金庫、川口信用金庫、飯能信用金庫

(3) その他

(公財)埼玉県産業振興公社、埼玉県よろず支援拠点、(一社)埼玉県中小企業診断協会、(一社)さいしんコラボ産学官

## 7 起業化支援

起業家や新事業分野に進出する中小企業を技術・経営両面から支援するため、研究開発のスペースとして貸研究室22室を設置している。

### 7.1 入居企業

#### (1) 貸研究室(令和4年度実績)

No.	入居者名	住所	分野	備考
1	クエスト(株)	川口市	IT	2室利用
2	(株)IDレーザー	川口市	工業製品	
3	(株)エッジテック	さいたま市	工業製品	
4	(株)サンエー	広島県三次市	工業製品	2室利用
5	エルケム・ジャパン(株)	東京都千代田区	工業製品	R4.7.22 退去
6	(株)アニモス	川口市	バイオ産業	
7	ケイワート・サイエンス(株)	川口市	工業製品	
8	(株)ライブセルダイアグノシス	朝霞市	工業製品	
9	オカヤス(株)	越谷市	工業製品	
10	(一財)辨野腸内フローラ研究所	新座市	調査研究	
11	RDG(株)	東京都江東区	工業製品	
12	ノコード(株)	東京都千代田区	工業製品	
13	武蔵医研(株)	川口市	工業製品	
14	(株)テクニカルアーツ	熊谷市	工業製品	R4.8.1 入居
15	(株)Kailas Robotics	東京都荒川区	工業製品	R4.11.1入居
16	(株)アクアイースター	さいたま市	工業製品	R4.11.1入居
17	佐竹マルチミクス(株)	戸田市	工業製品	R5.3.1 入居 3室利用

### 7.2 支援実績

	支援内容	利用企業数	利用件数
1	センター研究員による技術相談	3企業	4件
2	インキュベーション・マネージャーによる経営相談	16企業	87件
3	依頼試験の利用を通じた技術支援	5企業	16件
4	開放機器の利用を通じた技術支援	8企業	34件
5	試作加工室の提供	6企業	70件
6	各種情報提供(セミナー、助成金、展示会など)	提供件数:50件	

## 8 人材育成

県内中小企業等の人材を育成するため、研修生の受け入れ等を行った。また、技術競技会における表彰を行った。

### 8.1 研修生の受け入れ

#### 8.1.1 中小企業等研究者養成研修事業

県内中小企業等の研究者及び技術者の資質の向上を図り、その技術力、研究開発力を強化することを目的として、研修生を受け入れた。

##### ◆本所

期 間	機関名	受け入れ人数	日 数	担当者
R4.10.19～10.21	富山大学	1	3	電気・電子技術・戦略プロジェクト担当 栗原 英紀
R5.1.13	卸売業	1	1	電気・電子技術・戦略プロジェクト担当 栗原 英紀
R5.2.9	製造業	1	1	電気・電子技術・戦略プロジェクト担当 鈴木 浩之
R5.2.28～3.2	富山大学	1	3	電気・電子技術・戦略プロジェクト担当 栗原 英紀
本 所 計		4	8	

日数は、1人あたりの日数

##### ◆北部研究所

期 間	機関名	受け入れ人数	日 数	担当者
R4.6.8	小売業	1	1	食品プロジェクト担当 飯塚 真也
R4.7.25～7.29	製造業	1	5	食品・バイオ技術担当 松本 美樹
R4.8.1～9.1	女子栄養大学	8	5	食品プロジェクト担当 成澤 朋之
北部研究所 計		10	11	

日数は、1人あたりの日数

##### ◆合計

本 所	受け入れ実績	
	人数	日数
本 所	4名	8日
北部研究所	10名	11日
合 計	14名	19日

日数は、1人あたりの日数

## 8.2 技術講習会、講演会等の開催

県内中小企業等の研究者や技術者に対し、技術講習会、講演会等を開催した。

### ◆本 所(主催事業)

年月日	名 称	会 場	内容及び講師等	参加人数
R4.4.8	3次元CAD/CAE操作体験セミナー	埼玉県産業技術総合センター	Solid worksの体験と3次元CADについての解説 (株)TEK 長谷山良典 氏	10
R4.6.15	3次元CAD/CAE操作体験セミナー	埼玉県産業技術総合センター	Solid worksの体験と3次元CADについての解説 (株)TEK 長谷山良典 氏	6
R4.8.26	3次元CAD/CAE操作体験セミナー	埼玉県産業技術総合センター	Solid worksの体験と3次元CADについての解説 (株)TEK 長谷山良典 氏	9
R4.8.30	令和4年度商品企画デザイン塾特別セミナー	埼玉県産業技術総合センター 及び オンライン	対談《企業×デザイナー》 「ものづくりとディレクション～ 川口まちこうば芸術祭メンバーに聞くデザインの力」 企業：(株)栗原精機 代表取締役 栗原稔 氏 (株)かねよし 代表取締役 吉田竜一 氏 デザイナー： 石田和人デザインスタジオ 石田和人 氏 川口商工会議所 総合政策課 座波尚子 氏	52
R4.9.2	令和4年度第1回デジタルものづくりセミナー	オンライン	「3Dプリンタ最新情報の紹介」 アルテック(株) 3D プリンタ営業課 課長 立山 豪 氏  「樹脂 3D プリンタによる事例検討結果の紹介」 埼玉県産業技術総合センター	23
R4.9.6	第564回埼玉県鋳物技術講演会	埼玉県産業技術総合センター、オンライン	テーマ「鋳造業界におけるカーボンニュートラルと省エネへの取り組み状況」 (一社)日本鋳造協会 技術・環境グループ グループリーダー 吉沢 亮 氏	35
R4.9.20	令和4年度商品企画デザイン塾 講義1	埼玉県産業技術総合センター 及び オンライン	「ビジネスモデル」 (株)カブ・デザイン 齋藤善子 氏	21
R4.9.27	令和4年度商品企画デザイン塾 講義2	埼玉県産業技術総合センター 及び オンライン	「プロダクトデザイン」 MUTE イトウ ケンジ 氏	21
R4.9.29	令和4年度商品企画デザイン塾 講義3	埼玉県産業技術総合センター 及び オンライン	「グラフィックデザイン」 MUTE ウミノ タカヒロ氏	22
R4.10.4	令和4年度商品企画デザイン塾 講義4	埼玉県産業技術総合センター	「写真撮影ワークショップ」 阿部良寛 氏	16
R4.10.11	令和4年度商品企画デザイン塾 講義5	埼玉県産業技術総合センター 及び オンライン	「ブランディング」 (株)小鳥来 古庄デザイン事務所 古庄良匡 氏	17
R4.10.26	3次元CAD/CAE操作体験セミナー	埼玉県産業技術総合センター	Solid worksの体験と3次元CADについての解説 (株)TEK 長谷山良典 氏	8

年月日	名 称	会 場	内容及び講師等	参加人数
R4.11.7	令和4年度第2回デジタルものづくりセミナー	埼玉県産業技術総合センター、オンライン	「樹脂・金属3Dプリンターと活用領域のご紹介」 (株)ファソテック AM 開発センター 荒木 史子 氏  「ワイヤ+アーク放電による AM に関する研究」 埼玉大学 大学院理工学研究科 機械工作研究室 准教授 阿部 壮志 氏  「金属 3D プリンタによる事例検討結果の紹介」 (株)サンノハシ PPQI デザイン部 新結合事業室 シニアエキスパートリーダー /MS 執行室 室長 西郷 史隆 氏  埼玉県産業技術総合センター	26
R4.12.8	第565回埼玉県鋳物技術講演会	埼玉県産業技術総合センター、オンライン	テーマ「JIS G 5502(球状黒鉛鋳鉄品)改定のポイントについて」 (有)日下レアメタル研究所 常務執行役員 技術部長 博士(工学) 鹿毛 秀彦 氏	40
R4.12.13	令和4年度第3回デジタルものづくりセミナー	オンライン	「最新 3D スキャナを含むデジタルものづくり機器に関する技術トピックスおよび活用事例の紹介」 東京貿易テクノシステム(株) 営業本部ソリューション営業推進部 海外営業グループ グループリーダー 加藤 伸行 氏  「3Dスキャナ等による事例検討結果の紹介」 埼玉県産業技術総合センター	10
R4.12.22	3次元CAD/CAE操作体験セミナー	埼玉県産業技術総合センター	Solid worksの体験と3次元CADについての解説 (株)TEK 長谷山良典 氏	4
R5.1.20	令和4年度商品企画デザイン塾特別セミナー	埼玉県産業技術総合センター 及び オンライン	「時は待たない！……だから未来を考える」 - ものづくりは 問題解決型から仮説提案型へ  エイアンドエフ(株) 顧問・インダストリアルデザイナー 福田哲夫 氏	50
R5.1.30～31	第254回埼玉県鋳物技術講習会	埼玉県産業技術総合センター	テーマ「鋳造品の超音波試験の基礎講座」 元埼玉県産業技術総合センター 永井 寛 氏	20

年月日	名 称	会 場	内容及び講師等	参加人数
R5.2.16	令和4年度第4回デジタルものづくりセミナー	オンライン	「構造最適化ソフトウェアと射出成形シミュレーションで課題を解決」 アルテアエンジニアリング(株) 技術本部 Senior Technical Expert ベッロージ ピエトロ 氏 Senior Application Specialist 廣田 英二郎 氏  「シミュレーションソフト等による事例検討結果の紹介」 埼玉県産業技術総合センター	14

◆北部研究所(主催事業)

年月日	名 称	会 場	内容及び講師等	参加人数
R4.6.17	第1回埼玉ブランド食品開発セミナー・研究会	北部研究所講堂 オンライン	(1) 講演会 「高齢化の進展に対応した食品開発」 金谷栄養研究所 所長 金谷節子 氏 (2) 埼玉ブランド食品開発研究会キック オフミーティング	34 (会場15, オンライ ン19)
R4.9.2	第2回埼玉ブランド食品開発セミナー	オンライン	講演会 「健康食品類における広告表現のポイント」 薬事法広告研究所 代表 稲留万希子 氏	15
R4.11.25	第3回埼玉ブランド食品開発セミナー (北部研究所研究成果発表会と同時開催)	オンライン	講演 「フードテックの概要と動向について」 (株)シグマクシス ヒューリスティック シェルパ/プリンシパル 増田拓也氏 事例紹介① 「酒蔵・味噌蔵・醤油組合・農業の中小 4社が食品ロス削減に挑む」 越後ど発酵共同プロジェクト事務局 (株)プラントフォーム 遠崎英史 氏 事例紹介② 「駅弁が時空間を超える～老舗弁当屋 が5種類の駅弁を冷凍販売～」 (株)桃中軒 代表取締役社長 宇野秀彦 氏	39

年月日	名 称	会 場	内容及び講師等	参加人数
R5.3.6	第4回埼玉ブランド食品 開発セミナー・研究会 成果発表会	北部研究所講堂	<p>(1) 講演会 「中小企業が経営に活かせる SDGs～ 食品製造業等の取組事例から～」 埼玉県中小企業診断協会 深坂 祐希 氏</p> <p>「中小企業におけるハラルビジネスの可 可能性」 ハラル・ジャパン協会 代表理事 佐久間 朋宏 氏</p> <p>(2) 研究会成果発表会 「埼玉ブランド食品開発研究会における 新商品開発事例について」 SAITEC 北部研究所 担当部長 仲島 日出男</p> <p>「専門アドバイザーの新商品開発支援 について」 農業・食品産業技術総合研究機構 上級研究員 奥西 智哉 氏</p> <p>「発芽玄米ごはんパンの開発とその販 売状況について」 ディボーネクラフト(株) 代表取締役 諸田 三比呂 氏</p>	21

◆本所(支援事業)

年月日	名称	会場	支援内容等	参加人数
R4.6.1	埼玉県熱処理技術研究会総会	書面表決	総会(資料送付)	34
R4.6.6 R4.6.7 R4.6.9	第253回埼玉県鋳物技術講習会	埼玉県産業技術総合センター	全体テーマ「技能検定のための鋳造技術の基礎知識」 6/6「鋳造工程・図形・寸法・実技・模型・砂」 伊藤鉄工(株) 顧問 岡崎 清治 氏 6/7「塗型・機械模型・精密鋳造・方案」 ものづくり大学 名誉教授 鈴木 克美 氏 6/9「材質・熔解・管理・熱処理・電気・安全衛生関係」 ものづくり大学 名誉教授 鈴木 克美 氏	105
R5.3.17	埼玉県熱処理技術研究会 第28回熱処理発表会	埼玉県産業技術総合センター	「浸炭炉予防保全活動:攪拌油冷タイムーの改造」 (株)オーネックス 須長 貴志 氏  「低温浸室焼入れにおける処理条件」 (株)日本テクノ 大西 拓也 氏  「水溶性冷却剤の紹介(新製品)」 日本グリース(株) 奥住 陽介 氏  「真空中での金属接合技術紹介」 エヌ・デー・ケー加工センター(株) 門倉 遼 氏	28

注) 熱処理技術研究会については、5.2 新技術情報交流支援(研究会・交流会の開催)に再掲。

◆北部研究所(支援事業)

年月日	名称	会場	支援内容等	参加人数
R4.5.12	新酒研究会	埼玉県産業技術総合センター 北部研究所	全国新酒鑑評会出品酒 12点 官能評価 個別講評 埼玉県産業技術総合センター北部研究所 担当部長 横堀 正敏 専門研究員 樋口 誠一 専門研究員 和田 健太郎 主任 齋藤 健太 技師 松本 美樹	9
R4.7.6	市販清酒研究会	埼玉県産業技術総合センター 北部研究所	「味覚センサーによる市販酒の分析、きき酒」18点 全体講評 学識経験者 石渡 英和 氏 講演「酒蔵、日本酒の価値の再定義」 学識経験者 石渡 英和 氏	28

年月日	名称	会場	支援内容等	参加人数
R4.9.9	清酒研究会	埼玉県産業技術 総合センター 北部研究所	出品点数 吟醸酒の部 33点(13場) 純米吟醸酒の部 29点(15場) 純米酒の部 6点(5場) 清酒審査講評 関東信越国税局 諸橋 一樹 氏 荒川 晃大 氏 県内杜氏 矢尾 博之 氏 二宮 一行 氏 埼玉県産業技術総合センター 北部研究所 担当部長 横堀正敏 専門研究員 樋口誠一 専門研究員 和田健太郎 主任 齋藤健太 技師 松本美樹	17
R4.9.16	吟醸酒研究会	埼玉県産業技術 総合センター 北部研究所	パネルディスカッション 「吟醸酒造りの要点」 進行 杜氏会長 長谷川 武史 氏 埼玉県産業技術総合センター 北部研究所 担当部長 横堀 正敏 講話「吟醸造りについて」 講師 北西酒造(株) 製造部醸造課 課長 村上 大介 氏	13
R5.3.17	杜氏酒造研究会	埼玉県産業技術 総合センター 北部研究所	きき酒研究会 個別講評 話題提供「近年の研究成果等について」 埼玉県産業技術総合センター 北部研究所 技師 齋藤 健太	13

### 8.3 技術競技会

#### 8.3.1 埼玉県鑄造技術コンクール

○第 58 回埼玉県鑄造技術コンクール

鑄造技術の向上は、企業個々の不断の努力と研鑽が重要であり、昨今の諸外国の追い上げや経済環境の急激な変化等によりその重要性は益々高くなってきている。

埼玉県鑄造技術コンクールは、鑄物製造技術の更なるレベルアップを目的に埼玉県と川口鑄物工業協同組合が共同開催しており、今年で 58 回目になる。課題を設定し高品質かつ正確に作ることを競っている。

今回は、ねずみ鑄鉄部門延べ 9 社、球状黒鉛鑄鉄部門延べ 11 社の参加で行われ、入賞者は次のとおりであった。

受賞工場一覧

ねずみ鑄鉄部門

賞 名	事業所名
埼玉県知事賞	不二工業(株)
川口鑄物工業協同組合理事長賞	富和鑄造(株)
川口市長賞	(株)マスセイ
一般社団法人日本鑄造協会会長賞	不二工業(株)
一般財団法人素形材センター会長賞	前澤工業(株)

球状黒鉛鑄鉄部門

賞 名	事業所名
埼玉県知事賞	(株)永瀬留十郎工場
川口鑄物工業協同組合理事長賞	(株)マスセイ
川口市長賞	(株)永瀬留十郎工場 櫛引工場
川口商工会議所会頭賞	富和鑄造(株)
埼玉鑄物技能士会会長賞	(株)椿本鑄工

○第 11 回鑄造技術コンクール(軽合金)

川口鑄物工業協同組合と川口鑄物技術センターの主催、埼玉県の後援により軽合金部門(アルミニウム合金)のコンクールが行われた。今年で 11 回目となり、10 作品の参加により競われた。出品作品の評価は、審査委員が鑄造方案(鑄造品の作り方)の適切さ、製品の出来栄え、材質、強度特性、歩留り(全鑄込み重量に対する製品部の重量比)の高さ、化学分析などの観点から行われ、入賞した作品の製作者は次のとおりであった。

受賞者一覧

賞 名	製作者名
川口鑄物工業協同組合理事長賞	(株)田島軽金属 澤井 里美 氏
川口市長賞	(株)飯田合金鑄造所 日向野 匠 氏
埼玉県産業技術総合センター長賞	(株)田島軽金属 井上 陽太 氏

#### 8.3.2 令和 4 酒造年度春季清酒鑑評会

令和 5 年 3 月 16 日に北部研究所で審査会を実施した。出品点数 51 点(18 場)

県産清酒の酒質の向上と醸造技術の改善を図り、業界の発展のため鑑評会を行う。最も優秀な成績を収めた酒造会社及び杜氏に埼玉県知事賞を、それに準ずる成績を収めた酒造会社及び杜氏に埼玉県産業技術総合センター北部研究所長賞を授与し、その他で一定の基準を満たし優良であった酒造会社及び杜氏を入賞とした。

令和 4 酒造年度春季清酒鑑評会受賞者(組員名簿順)

埼玉県知事賞

酒造場名	酒銘	杜氏名
(株)矢尾本店	秩父錦	矢尾 博之 氏

埼玉県産業技術総合センター北部研究所長賞

酒造場名	酒銘	杜氏名
晴雲酒造(株)	晴 雲	吉原 卓夫 氏

入賞

酒造場名	酒銘	杜氏名
北西酒造(株)	文 楽	村上 大介 氏
松岡醸造(株)	帝 松	松岡 則夫 氏
武甲酒造(株)	武 甲 正 宗	長谷川 武史 氏
(株)釜屋	力 士	松沼 宏顕 氏

## 8.4 科学技術体験学習の実施

### 8.4.1 スーパーサイエンスハイスクール事業

◆本所

浦和第一女子高等学校スーパーサイエンスハイスクールに対しセンター職員が7つのテーマで講義を実施した。参加した生徒の先端技術との出会いや現場の研究者・技術者との交流を図った。

- (1) 日 時 令和4年12月15日(木)
- (2) 場 所 埼玉県産業技術総合センター
- (3) 人 数 29名(浦和第一女子高等学校 1年生)
- (4) 学習内容
  - ① クロマトグラフィーを用いた化学分析
  - ② 鋳物づくり体験学習
  - ③ 大型 X 線 CT 装置による非破壊検査体験学習
  - ④ 3Dプリンター体験学習
  - ⑤ 3Dスキャナー体験学習
  - ⑥ プログラマブルコントローラー(シーケンサ)のプログラミング及び協働ロボットの操作
  - ⑦ マイコンを使ってセンサーやLEDを制御

## 8.5 埼玉県立高等技術専門校との連携による取組

SAITEC での IoT・AI などの技術支援を、高等技術専門校での人材育成に生かすため、以下の取組を行った。

### 8.5.1 特別講習会

高等技術専門校の生徒に対し、SAITEC 研究員による DX 推進支援等についての講義及び施設の見学を行った。

(1) 日時、参加人数

年月日	参加校	参加人数
R4.9.28	中央校 機械制御システム課 川口校 機械課	23
R4.10.13	川口校 情報処理課	25
R4.11.4	中央校 情報制御システム課	12

(2) 講義内容

- 9月28日 「3D データ及び 3D プリンタ活用支援事例」
- 10月13日、11月4日 「SAITEC 概要、AI・IoT 導入支援事例」

(3) 施設見学

AI・IoT 検証ラボ、3D プリンタ、3D デジタイザ、X 線 CT 装置、人工気象室、電波暗室等

## 8.5.2 企業課題及び人材ニーズについての情報収集

### (1)企業訪問による情報収集

SAITEC 及び高等技術専門校の職員が合同で、SAITEC の技術支援を受けた企業を訪問し、現場での課題の把握と人材ニーズについての情報収集及び意見交換を行った。

実施期間 10月5日～12月21日

訪問企業 SAITEC 関連企業 9社

### (2)企業説明会における情報収集

SAITEC 及び高等技術専門校の職員が、高等技術専門校で開催する企業説明会終了後、参加企業に対して現場での課題の把握と人材ニーズについての情報収集を行った。

実施日 9月22日

参加企業 川口校での企業説明会に参加した企業 6社

## 9 その他の事業

### 9.1 職員研修

職員の技術力向上に資するため、各種研修会に職員を参加させるとともに、職場研修を実施した。

#### ◆本所

講座名	期間	研修機関	研修者
FT-IRオンライン技術セミナー	R4.4.14	サーモフィッシャーサイエンティフィック(株)(オンライン)	坂本 大輔
ナノインデント基礎研究	R4.4.15	ブルカージャパン(株)	小野 裕也
NMRによるゴム、高分子の架橋評価	R4.4.27	ブルカージャパン(株)	常見 崇史
AI人工知能EXPO	R4.5.11	RX Japan	熊谷 知哉
予知保全セミナー(ボールバーシステム)	R4.5.18	レニショー(株)	小野 裕也
赤外・ラマン技術セミナー Day1	R4.5.27	ブルカージャパン(株)	坂本 大輔 伊藤 幸希
ImageJ 画像解析基礎講座	R4.5.31	ライカマイクロシステムズ(株)	鶴藪 大
RIETI政策シンポジウム デジタル時代の価値創出 ～デザイン経営の視点から～	R4.6.7	(独法)経済産業研究所	原田 勝利
ナノインデントを用いたDMA評価	R4.6.9	ブルカージャパン(株)	小野 裕也
日本電子(株) NMRユーズーズミーティング	R4.6.10	日本電子(株)(オンライン)	常見 崇史
熱分析定期講習会	R4.6.10	(株)リガク	田中 拓也 大澤 旺欣
MotionView/MotionSolve入門コース	R4.6.15～17	アルテアエンジニアリング(株)	都知木 邦裕
プラスチック破損解析	R4.6.17	サイエンス&テクノロジー(株)	坂本 大輔 伊藤 幸希
成形加工道場2022-I(Web版)「射出成形現象を極めよう」	R4.6.21	YOKOI Labo(オンライン)	田中 拓也 大澤 旺欣
デジタル・ネットワーク社会に必要な著作権の知識	R4.6.21	文化庁(オンライン)	奥山 茂
赤外・ラマン技術セミナー Day2	R4.6.24～29	ブルカージャパン(株)	坂本 大輔
Phoenicsユーザーセミナー	R4.6.24	CHAM-Japan(オンライン)	鳥羽 遼子
エクスロン高出力X線CT『UX50』ライブデモWebセミナー	R4.6.28	エクスロン(オンライン)	菊池 和尚 飽津 彰 横森 千博
HORIBA Raman School	R4.6.29	(株)堀場製作所(オンライン)	坂本 大輔
粒子径分布(レーザ回折・散乱式)分析セミナー(初級コース)	R4.6.29	マイクロトラック・ベル(株)(オンライン)	菊池 和尚 横森 千博

講座名	期 間	研修機関	研修者
FT-IR・ラマン バーチャル・ユーズフォーラム	R4.7.6	サーモフィッシャーサイエンティフィック(株)(オンライン)	坂本 大輔
東京大学エクステンション・サーキュラーエコノミー(CE)時代の新たなビジネスを考える/1	R4.7.11	東京大学(オンライン)	山田 岳大
ポリテクセンター埼玉 締結部品の選定・組付け技術	R4.7.12~14	ポリテクセンター埼玉	岩崎 翼
金属製品の防錆対策	R4.7.13	愛知工研協会	小野 裕也
玉掛け技能講習	R4.7.14~16	(一社)日本クレーン協会	内藤 理恵
SEM基礎セミナー	R4.7.20	(株)日立ハイテク(オンライン)	鳥羽 遼子
エレメンタルセミナー2022	R4.7.21	サーモフィッシャーサイエンティフィック(株)(オンライン)	灘野 朋美
赤外・ラマン技術セミナー Day3	R4.7.22	ブルカージャパン(株)	坂本 大輔
構造最適化入門コース	R4.7.28	アルテアエンジニアリング(株)	都知木 邦裕
X線基礎セミナー	R4.7.29	エクスロン(オンライン)	菊池 和尚
構造最適化アドバンスコース	R4.7.29	アルテアエンジニアリング(株)	都知木 邦裕
振動試験セミナー	R4.7.29	IMV(株)	高野 力人 女鹿 貴信
東北大学金属材料研究所夏期講習会	R4.8.2	東北大学金属材料研究所(オンライン)	菊池 和尚
SimLab入門コース	R4.8.3	アルテアエンジニアリング(株)	都知木 邦裕
AcuSolve入門コース	R4.8.9	アルテアエンジニアリング(株)	都知木 邦裕
成形加工道場2022-II(Web版)「射出成形現象を極めよう」	R4.8.23	YOKOI Labo(オンライン)	田中 拓也
クレーン運転のための特別教育	R4.8.24, 8.27	(一社)日本クレーン協会	内藤 理恵
HyperWorks-HyperMesh入門コース	R4.8.24	アルテアエンジニアリング(株)	都知木 邦裕
線形構造解析入門コース	R4.8.26	アルテアエンジニアリング(株)	都知木 邦裕
Phoenicsユーザーセミナー	R4.8.26	CHAM-Japan(オンライン)	鳥羽 遼子
TESCAN X線CTオンラインセミナー2022	R4.8.29	(株)東陽テクニカ(オンライン)	山田 岳大
OptiStruct非線形構造解析入門コース	R4.8.30	アルテアエンジニアリング(株)	都知木 邦裕
金属めっき技術の理論と実際	R4.8.30~31	高度ポリテクセンター	萩元 祥史
HyperWorks-HyperMeshメッシュエキスパート編	R4.8.31	アルテアエンジニアリング(株)	都知木 邦裕
Thermo FTIRラマンe-learning	R4.9.1	サーモフィッシャーサイエンティフィック(株)	熊谷 知哉
表面技術協会講演大会	R4.9.6~7	(一社)表面技術協会	稲本 将史
組込み技術者のためのプログラミング	R4.9.8~9	高度ポリテクセンター	久野 磨衣子
空気圧システムの保全技術	R4.9.12	高度ポリテクセンター	小林 達哉
ポリテクセンター埼玉 伝動装置の機会保全技術	R4.9.14~16	ポリテクセンター埼玉	岩崎 翼
「熱流体解析」webセミナー	R4.9.16	(株)R&D支援センター(オンライン)	鳥羽 遼子
堀場製作所 粒度分布測定	R4.9.28	(株)堀場製作所(オンライン)	横森 千博
ブルカージャパン(株) NMRユーザーズミーティング	R4.10.5	ブルカージャパン(株)(オンライン)	常見 崇史
ポリテクセンター埼玉 機械保全実践技術(設備点検・対処法)	R4.10.11~14	ポリテクセンター埼玉	岩崎 翼
ポリテクセンター埼玉 設計に活かす3次元CADソリッドモデリング技術	R4.10.11~14	ポリテクセンター埼玉	女鹿 貴信
ブルカージャパン(株)「NMR講習会」	R4.10.13~14	ブルカージャパン(株)	常見 崇史
X線イメージングセミナー	R4.10.19	(株)リガク(オンライン)	菊池 和尚
TIRIクロスセミナー	R4.10.20	(独法)都立産業技術研究所	熊谷 知哉

講座名	期 間	研修機関	研修者
フライス盤加工応用技術(あり溝編)	R4.11.7～11	ポリテクセンター埼玉	高野 力人
香気分析ウェビナー2022 Day2	R4.11.9～11	アジレントテクノロジー(株)	代 龍之介
画像解析粒度分布計入門: 形状を活用した粒子の評価	R4.11.9	ジャスコインターナショナル(オンライン)	菊池 和尚 横森 千博
第4回ものづくりDX推進セミナー	R4.12.1	(公財)埼玉県産業振興公社	原田 勝利
トレーニングスクール CALYPSOコース CNC機(VAST)	R4.12.5～6	(株)東京精密 計測センター/八王子工場	磯脇 海
未踏分析技術イノベーションウェビナー	R4.12.6	JASIS委員会(オンライン)	菊池 和尚
X線イメージングセミナー	R4.12.12	(株)リガク	山田 岳大
spScan 定期トレーニング	R4.12.15～16	東京貿易テクノシステム(株)	磯脇 海
デザイン政策研修	R4.12.20	経済産業省	赤坂 拓郎 大沼 勇樹
spGauge(基本)定期トレーニング	R4.12.22～23	東京貿易テクノシステム(株)	磯脇 海
放射光利活用オンラインセミナー	R4.12.23	東北経済産業局	原田 勝利
クレーンの運転の業務に係る特別の教育	R5.1.13～14	(一社)日本クレーン協会 埼玉支部	増子 陽一 田中 拓也 磯脇 海
ステンレス・オンライン・セミナー	R5.1.17	ステンレス配管研究会	鶴菌 大 鳥羽 遼子
空気圧機器の保全	R5.1.17	ポリテクセンター埼玉	小林 達哉
NMRユーザーズミーティング	R5.1.19	日本電子(株)	常見 崇史
玉掛け技能講習	R5.1.19～21	(一社)日本クレーン協会 埼玉支部	増子 陽一 田中 拓也 女鹿 貴信 磯脇 海
アジレント材料分析セミナー2023	R5.1.24	アジレントテクノロジー(株)	代 龍之介
蛍光X線分析ユーザースクール(ビギナー)	R5.2.1	(株)日立ハイテクサイエンス	篠崎 誠
蛍光X線膜厚計ユーザースクール(ビギナー)	R5.2.8	(株)日立ハイテクサイエンス	篠崎 誠
Phoenixユーザーセミナー	R5.2.24	CHAM-Japan(オンライン)	鳥羽 遼子
埼玉県高圧ガス保安講習会	R5.3.1	埼玉県化学保安課 さいたま市消防局予防部査察指導課(オンライン)	横森 千博
HORIBA オンラインセミナー(元素分析)	R5.3.8	(株)堀場製作所(オンライン)	灘野 朋美
有機溶剤作業主任者講習	R5.3.9～10	労働安全衛生管理協会	南部 洋平 都知木 邦裕
東北大学金属材料研究所最終講義 金属加工プロセス工学 ― 鋳造工学から積層造形工学への展開	R5.3.13	東北大学金属材料研究所(オンライン)	菊池 和尚
工芸品輸出勉強会2023 in Saitama	R5.3.17	ジェトロ埼玉	赤坂 拓郎

◆北部研究所

講座名	期間	研修機関	研修者
関東甲信越クラブビアカンファレンス2022	R4.4.12	関東信越国税局、東京国税局	和田 健太朗
関東信越ワイン醸造研究会	R4.4.14	関東信越国税局	樋口 誠一
マイクロピペットの正しい使い方ウェビナー	R4.5.19	エッペンドルフ(株)(オンライン)	横堀 正敏
味覚センサーオンラインセミナー「変化する消費者嗜好を追跡する味覚GPSアプリの開発」	R4.5.26	(株)インテリジェントセンサーテクノロジー(オンライン)	横堀 正敏 樋口 誠一

講座名	期間	研修機関	研修者
製パン技術セミナー	R4.5.31、6.28、 7.12、8.9、 9.27、10.4、 11.15、12.16、 R5.1.24、3.7、 3.28	(一社)日本パン技術研究所	海野 まりえ
日本酒フェア2022 令和3酒造年度全国新 酒鑑評会公開さき酒会	R4.6.18	日本酒造組合中央会、(独法)酒 類総合研究所	樋口 誠一 和田 健太朗
総研研究会醸造食品部会講演会	R4.6.24	東京農業大学総合研究所研究会 醸造食品部会(オンライン)	松本 美樹
「味香り戦略研究所」ってなんの会社？ ” 味の見える化”と世界初“フードNFT”につ いて解説	R4.6.28	(株)味香り戦略研究所(オンライ ン)	樋口 誠一
材料解析テクノフォーラム	R4.8.3	(株)日立ハイテク(オンライン)	秋山 稔
食品工学応用技術勉強会2022第3回「感 知技術と分析手法(その1)」	R4.8.4	(一社)日本食品工学会インダスト リー委員会(オンライン)	齋藤 健太
食品品質保持研究会第2回講演会	R4.8.8	食品品質保持研究会(オンライン)	横堀 正敏
令和4年度茨城県酒造組合技術部会技 術講演会	R4.8.19	茨城県酒造組合技術部会(オンラ イン)	横堀 正敏 樋口 誠一 和田 健太朗 松本 美樹
日本食品科学工学会第69回大会	R4.8.24~11.3	日本食品科学工学会	仲島 日出男 原田 雅典 成澤 朋之
第45回酒米懇談会	R4.9.5	酒米研究会(会場+オンライン)	齋藤 健太
製パン技術基礎コース	R4.9.12~11.23	(一社)日本パン技術研究所	原田 雅典
味覚センサー講習会入門コース	R4.9.14	(株)インテリジェントセンサーテク ノロジー	山川 徹郎
鉄鋼材料の熱処理技術(一般熱処理編)	R4.9.28	高度ポリテクセンター	高橋 勝
日本醸造学会大会	R4.10.4~11	日本醸造学会(オンライン)	樋口 誠一 和田 健太朗 齋藤 健太
第14回日本醸造学会若手シンポジウム	R4.10.7~14	日本醸造学会若手の会(オンライ ン)	松本 美樹
第90回醤油研究発表会(東京大会)	R4.10.20	(一財)日本醤油技術センター	松本 美樹
第17回味覚センサー活用セミナー	R4.10.21	(株)インテリジェントセンサーテク ノロジー(オンライン)	横堀 正敏 山川 徹郎
千葉県産業支援技術研究所オープンリサ ーチ2022	R4.10.21	千葉県産業支援技術研究所	原田 雅典 和田 健太朗
SEMユーザーズミーティング	R4.10.27	日本電子(株)	秋山 稔 山川 翔平 原田 雅典
EPMA・表面分析ユーザーズミーティング	R4.10.28	日本電子(株)(オンライン)	山川 翔平 原田 雅典
第93回関東信越国税局酒類鑑評会技術 研究会	R4.11.9	関東信越国税局	和田 健太朗
第31回日本健康医学会総会	R4.11.12	日本健康医学会	松本 美樹
食品品質保持に関わる基礎講座(Web)	R4.11.18	食品品質保持研究会(オンライン)	和田 健太朗
令和4年度清酒酵母・麴研究会講演会	R4.11.19	清酒酵母・麴研究会(オンライン)	樋口 誠一 松本 美樹
令和4年度酒造講話会	R4.11.24	関東信越国税局(オンライン)	横堀 正敏 樋口 誠一 和田 健太朗

講座名	期間	研修機関	研修者
第1回国際発酵・醸造食品産業展	R4.11.30	TSO International	仲島 日出男 樋口 誠一
分析分科会	R4.12.15～16	産業技術連携推進会議 知的基盤部会(オンライン)	鈴木 理博
現場におけるLAN活用技術(TCP/IP編)	R5.1.17～18	ポリテクセンター埼玉	高橋 勝
味香り戦略研究所Zoomウェビナー 味香り 戦略研究所が考える“おいしい”ペアリング	R5.1.24	(株)味香り戦略研究所(オンライ ン)	横堀 正敏
金属材料の腐食対策	R5.2.1～2	高度ポリテクセンター	高橋 勝
オープンソースプラットフォーム活用技術 (Kotlin編)〈Android向けアプリケーション を作ってみよう〉	R5.2.2～3	高度ポリテクセンター	山田 夏輝
公設試験研究機関向け味覚センサー活 用セミナー	R5.2.8	(株)インテリジェントセンサーテク ノロジー(オンライン)	樋口 誠一
味香り戦略研究所Zoomウェビナー「食品 ヒット大賞」2022年食のトレンド振り返り	R5.2.9	(株)味香り戦略研究所(オンライ ン)	横堀 正敏
乳酸菌の機能性解析と食品開発・産業へ の効率的な活用法	R5.2.17～5.6	(株)テックデザイン	原田 雅典
令和4事務年度全国市販酒類調査品質 評価(オブザーバ参加)	R5.3.1	関東信越国税局	和田 健太郎 齋藤 健太
日本食品科学工学会関東支部大会	R5.3.11～6.1	日本食品科学工学会	仲島 日出男 原田 雅典 成澤 朋之
センサデータの取得・収集技術とAIを用い た異常検知への応用 〈オンラインセミナー〉	R5.3.13	日本テクノセンター(オンライン)	山田 夏輝 横山 雄哉
日本農芸化学会2023年度大会	R5.3.14～6.5	日本農芸化学会	成澤 朋之
「日本酒製造におけるIoT技術活用」講習 会	R5.3.20	福島県ハイテクプラザ会津若松技 術支援センター(会場+オンライ ン)	齋藤 健太

#### ◆職場研修

名 称	期 日	会 場	参加人数
競争的研究費に係る研修会 講師:企画・総務室 巻島秀男	R4.11.9	埼玉県産業技術総合センター	7(会場) 21(オンライン)

## 9.2 運営委員会の開催

埼玉県産業技術総合センターの事業・研究業務の効果的な運営を図るため、外部有識者からなる「埼玉県産業技術総合センター運営委員会」を1回開催し、業務内容等を検討した。

### 9.2.1 開催状況

#### (1) 令和4年度産業技術総合センター運営委員会

- ① 日時 令和5年3月6日(月)
- ② 場所 埼玉県産業技術総合センター 5階交流サロン
- ③ 議題 「SAITECが取り組む中小企業支援について」
- ④ 参加人数  
運営委員 8人 埼玉県 9人 計17人

## 9.2.2 運営委員

石川金属機工(株)	代表取締役社長	(50音順)	
(株)岩崎食品工業	会長	石川 義明	氏
大起理化工業(株)	代表取締役	岩崎 一隆	氏
(国研)産業技術総合研究所	つくばセンター 次長	大石 正行	氏
埼玉大学	理事・副学長	尾形 敦	氏
日本工業大学	産学連携センター センター長	黒川 秀樹	氏(委員長)
(株)二ノ宮製作所	代表取締役社長	古閑 伸裕	氏
芝浦工業大学	副学長	二ノ宮 紀子	氏
		渡部 英二	氏